

アンケート回答数1,138名

○エリア分けの詳細と回答人数（※エリアは現在の居住地で分けています）

北海道(29名) 北海道

東北(72名) 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県

福島県(325名) 福島県のみ浜通り、中通り、会津の3つに分けています

関東(431名) 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部(94名) 新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、長野県、山梨県、静岡県、愛知県

近畿(75名) 三重県、滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、兵庫県

中国・四国(30名) 岡山県、広島県、山口県、鳥取県、島根県、香川県、徳島県、愛媛県、高知県

九州(32名) 福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、宮崎県、熊本県、鹿児島県、沖縄県

福島→県外(19名) 震災当時は福島県内に在住、現在は福島県外に在住

県外→福島(18名) 震災当時は福島県外に在住、現在は福島県内に在住

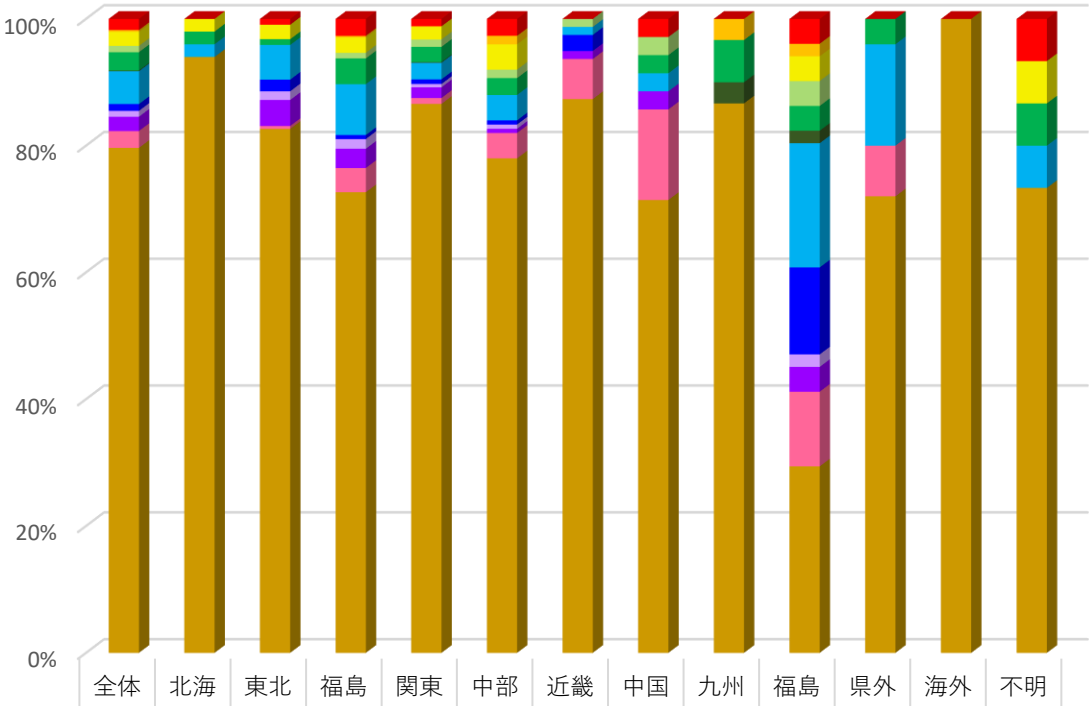
海外→県外(2名) 震災当時は海外に在住、現在は福島県外に在住

地域不明(11名) 居住地の記載無し

※回答者からのコメントは記載通りに掲載しています

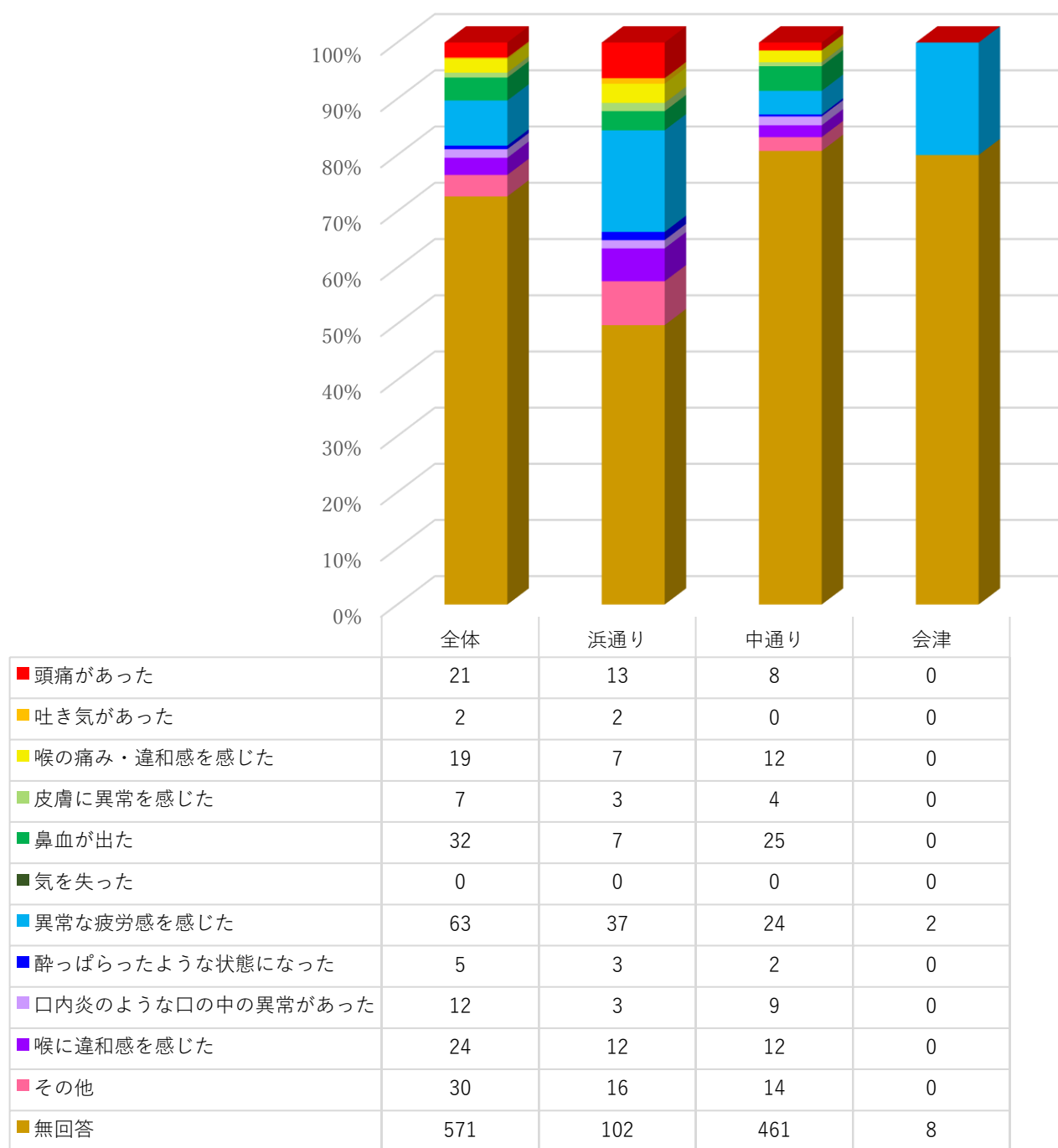
※回答項目以外の回答やコメントは「その他」として掲載しています

Q10. 福島原発事故後、約10日間の間にからだに感じた変化 複数選択可 （回答者及び家族も集計に含む）



	全体	北海道	東北	福島	関東	中部	近畿	中国四国	九州	福島→県外	県外→福島	海外→県外	不明
■頭痛があった	42	0	2	21	11	4	0	1	0	2	0	0	1
■吐き気があった	7	0	0	2	1	2	0	0	1	1	0	0	0
■喉の痛み・違和感を感じた	53	1	5	19	19	6	0	0	0	2	0	0	1
■皮膚に異常を感じた	24	0	0	7	11	2	1	1	0	2	0	0	0
■鼻血が出た	69	1	2	32	23	4	0	1	2	2	1	0	1
■気を失った	3	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0
■異常な疲労感を感じた	124	1	12	63	25	6	1	1	0	10	4	0	1
■酔っぱらったような状態になった	26	0	4	5	7	1	2	0	0	7	0	0	0
■口内炎のような口の中に異常があった	22	0	3	12	5	1	0	0	0	1	0	0	0
■喉に違和感を感じた	54	0	9	24	16	1	1	1	0	2	0	0	0
■その他	64	0	1	30	9	6	5	5	0	6	2	0	0
■無回答	1909	47	181	571	826	117	69	25	26	15	18	3	11

【福島県の内訳】



鼻血

【東北】

- ・ 回数はわからないがしょっちゅう出た（買い物だったり、外に出る時が多かった気がする）

【浜通り】

- ・ 1回 3名
- ・ 2、3回
- ・ 数回
- ・ 3回

【中通り】

- ・ 3回

【関東】

- ・ 2回 5名
- ・ 数回
- ・ 1回
- ・ 10回
- ・ 5回 2名

【九州】

- ・ 1～2回
- ・ 3～4回

【地域不明】

- ・ 3回

その他

【東北】

- ・ 肺炎とインフルエンザで入院
- ・ 気分が沈んでいた
- ・ 大きな吹き出物が顔に出た
- ・ 不安症状
- ・ 眠れない
- ・ 38度の熱が出て丸一日寝込んだ
- ・ 妊娠中、お腹の張りが強かった

【浜通り】

- ・ 下痢、目がかすむ、生理がとまる
- ・ 下痢、生理こない
- ・ 下痢 2名
- ・ 乳児から90代の世話と水くみで体調の記憶なし
- ・ 目の充血
- ・ 真白な便が出た
- ・ 咳がひどくぜんそくのようなになった
- ・ お腹がゆるい
- ・ 常にお腹がゆるい
- ・ めまい(地震のせい？)
- ・ 避難すべきかどうか迷い不安
- ・ 公務員としての震災後、各避難所対応で疲れる

【中通り】

- ・ 神経が高ぶった
- ・ 首の周りが重苦しく感じた
- ・ 熱を出した
- ・ 鼻水、発熱
- ・ 心臓に違和感、圧迫感
- ・ 花粉症の様な状態
- ・ 脱毛
- ・ 腰痛、風邪、高血圧
- ・ 不眠

【中通り】 つづき

- ・不安感
- ・くしゃみが出た
- ・鼻水が止まらなかった
- ・妊娠2か月だったので不安でした
- ・無気力

【関東】

- ・この年の1月に生まれたが、世の中の動きの変化を察知したのか、とにかくぐずっていた。生まれて2か月くらいの年齢的なものなのかは不明ですが。
- ・口角ヘルペスが1か月続く
- ・精神的に疲れた
- ・不安
- ・目が痛くなった、夏以降に鼻血、今まで経験したことのない止まりにくいもの
- ・流産
- ・避難をしたので10日間特になし
- ・覚えていない
- ・髪の毛が増えた
- ・発熱 2名
- ・不安神経症、食欲不振
- ・多過食
- ・2013年原発性、首の悪性腫瘍で転移、甲状腺ガン発症ステージⅢB、手術後良好
- ・悪寒
- ・黒い点が出来た。目の痛み
- ・アレルギー悪化
- ・鼻水 2名
- ・計画停電でやや緊張気味
- ・私はだんだんと顔がかゆくなり、ゴールデンウィークに那須に遊びに行った時からかゆみがひどくなった。娘はキャベツ等の葉物を食べると口の中がかゆくなった。
- ・新宿区で異臭がした
- ・ハイテンション
- ・足がむくみゾウの様にパンパンに。ホメオパシーで放射能の影響でとの診断。治療を受け良くなった。
- ・精神的不調（不安、不眠）
- ・咳が続いた。ホコリのせいかも
- ・朝ニュースを見るたびにひどくなっているので1月間は気持ちが最悪でした。
- ・下痢
- ・眠気
- ・いわきに帰省した折下痢をした。以来便が治った。
- ・3月15日に仕事で東京上野を数時間歩き、その後明らかに数ヶ月体調が悪かった。
- ・怪我が治りにくかった。打ち身の内出血がいつもよりひどかった。2ヶ月ほど咳が止まらなくなった。
- ・歯が痛む

【中部】

- ・妊娠中だった
- ・無気力
- ・事故20日後東京で2泊中、鼻血止まらず
- ・ムネが苦しく、精神不安定
- ・砂ばくのようにヒリヒリした
- ・2013年1型糖尿病発症

【近畿】

- ・乳が痛かったが、4ヶ月後に乳首にダニがつき、真っ黒な血を吸ってくれてから痛みが消えた
- ・遠方故に気にしていない
- ・本人、夫 体に異常はないけれど心配して過ごしていました
- ・不安からか、いつもは仲が良いのに、つかみ合いのけんかをした
- ・ニュースで心配が続いた

【中国・四国】

- ・何もなかった
- ・特にないように感じた
- ・重度うつ、パニック症状

【九州】

- ・体の異状は特に感じなかったが精神的に不安定だった
- ・福岡にいて感じないが、玄海原発、川内原発のことがあり不安である
- ・下痢が止まらなくなった
- ・九州宮崎在住
- ・ゲリ 2名

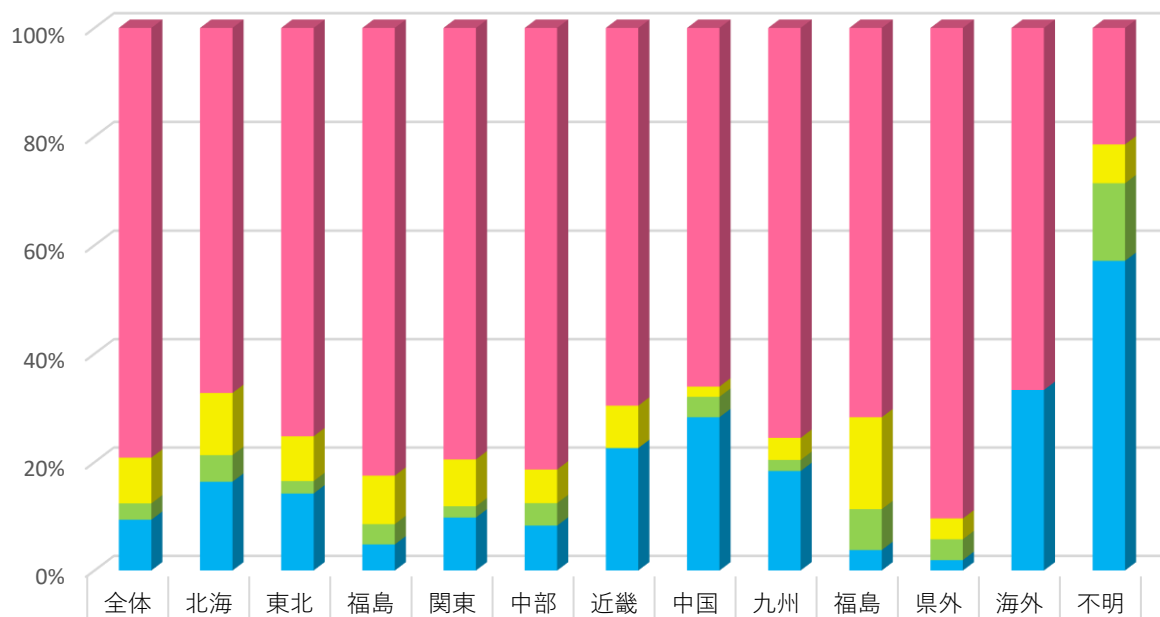
【福島→県外】

- ・ねむれなかった
- ・せき、発熱
- ・地震の余震のせいかな
- ・手のひらのしびれ
- ・脈拍が常に早かった
- ・咳

【県外→福島】

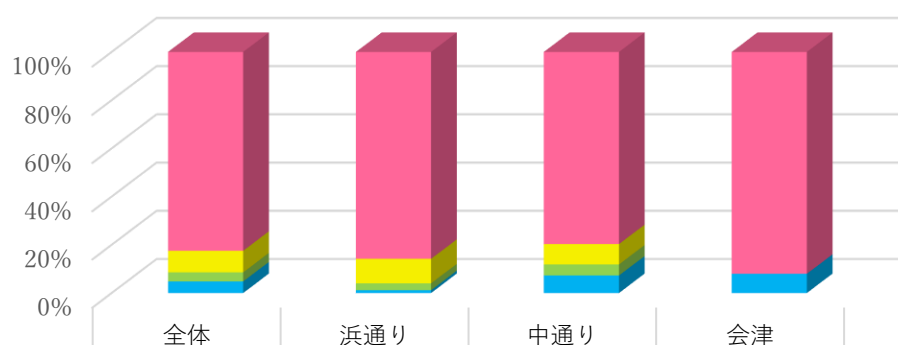
- ・夫は自衛官のため、勤務先の仙台市のまま。3人だけ実家に避難
- ・避難所で脳梗塞になった

Q11. 福島原発事故前の健康状態はいかがでしたか。慢性疾患がある場合はお書きください。
(回答者及び家族も集計に含む)



■ おおむね良好	2306	41	164	857	845	157	80	35	37	38	47	2	3
■ 疾患あり(慢性疾患含む)	246	7	18	93	92	12	9	1	2	9	2	0	1
■ 疾患はないが時々体調を崩す	88	3	5	39	22	8	0	2	1	4	2	0	2
■ 無回答	273	10	31	50	104	16	26	15	9	2	1	1	8

【福島県の内訳】



■ おおむね良好	857	363	471	23
■ 疾患あり(慢性疾患含む)	93	43	50	0
■ 疾患はないが時々体調を崩す	39	12	27	0
■ 無回答	50	5	43	2

【東北】

- ・高コレステロール・血糖値高め・クレアチニン高め
- ・高コレステロール
- ・血尿
- ・糖尿病

【浜通り】

- ・高脂血症
- ・すい炎(震災前から)のちにすいのう胞IPMNができる、頭痛(年齢のせいかもしれない)
- ・花粉症
- ・糖尿病
- ・喘息 4名
- ・アレルギー性鼻炎
- ・狭心症
- ・切迫流産

【中通り】

- ・糖尿病 2名
- ・高血圧 2名
- ・C型肝炎
- ・脳梗塞
- ・過呼吸
- ・皮膚疾患、かゆみ発疹

【関東】

- ・脳出血、化学物質過敏症
(チェルノブイリ原発事故後、ソ連欧州を旅し半年ほど、その後抜け毛がひどくなりました。上記の疾患も出ました)
- ・前後入院中
- ・高血圧症 7名
- ・胃潰瘍
- ・人工透析
- ・ぜんそく 2名
- ・アレルギー 3名
- ・慢性胃炎
- ・リンパ腫
- ・甲状腺機能低下症
- ・高脂血症 2名
- ・気管支喘息
- ・糖尿病 3名
- ・アトピー性皮膚炎
- ・腰部脊柱管狭窄症
- ・脳梗塞、間質性肺炎
- ・糖尿病、腎臓病
- ・心臓弁膜症、甲状腺ガン
- ・SLE
- ・COP
- ・腰痛、胃腸障害
- ・食道がん(関係はないと思うが原発事故後福島県高湯にある実家の別荘の片づけに行ったとき夫だけは山の水道水を飲み外にも出ていた)
- ・2011年3月11日は、回答者は母の介護のため長野県松本市で暮らしていました。家族(4人)は横浜市で暮らしていました。このため回答に迷う設問がありました。また子供たちは皆成人になっていましたので、子どもの保養については学童期の子がいればと考えて回答しています。

【中部】

- ・心臓疾患
- ・やや血圧高め(薬は不要)、帯状疱疹は1年に1度程あった
- ・浜松は遠くはなれているので、健康状態には変化はなかったと思います
- ・透析中

【近畿】

- ・不整脈（心房細動）定年前の超過勤務による過労によって起こったと思われる
- ・アトピー性皮膚炎
- ・糖尿病
- ・アトピー性皮膚炎
- ・緑内障、口内炎
- ・緑内障

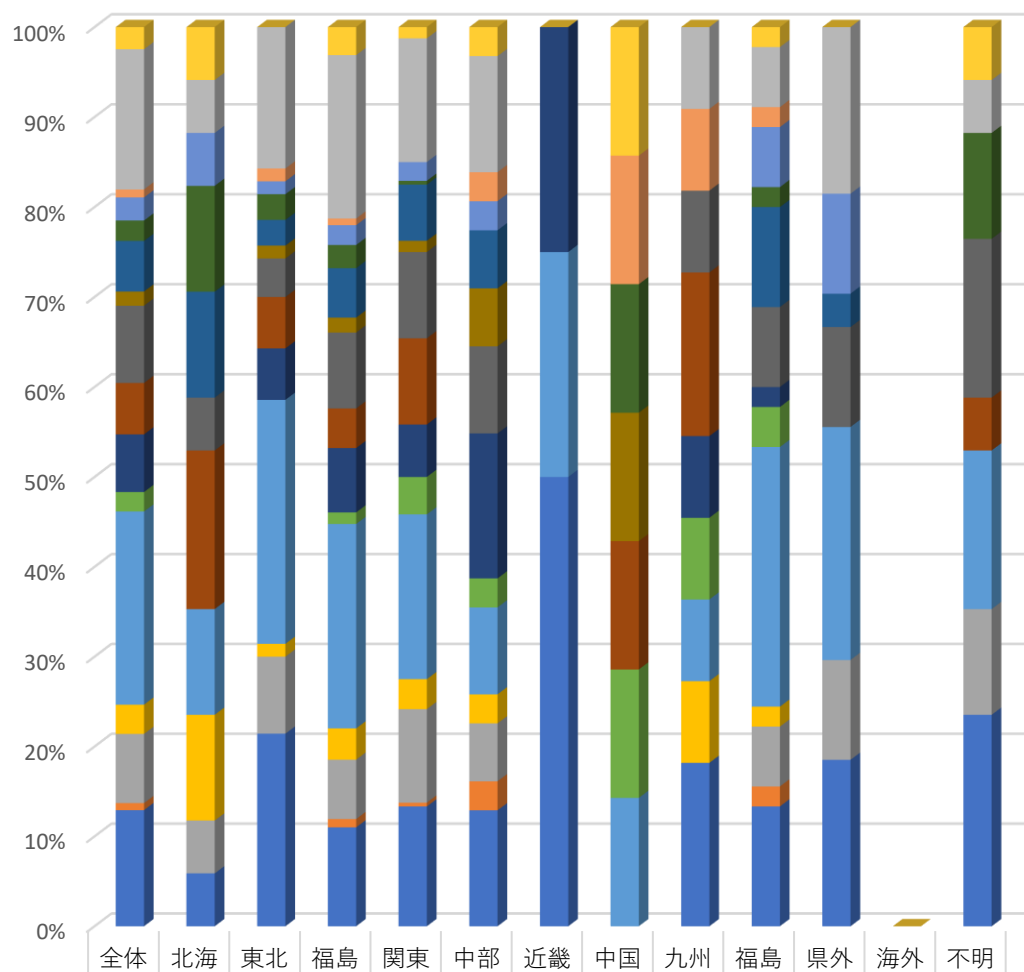
【九州】

- ・甲状腺機能障害

【福島→県外】

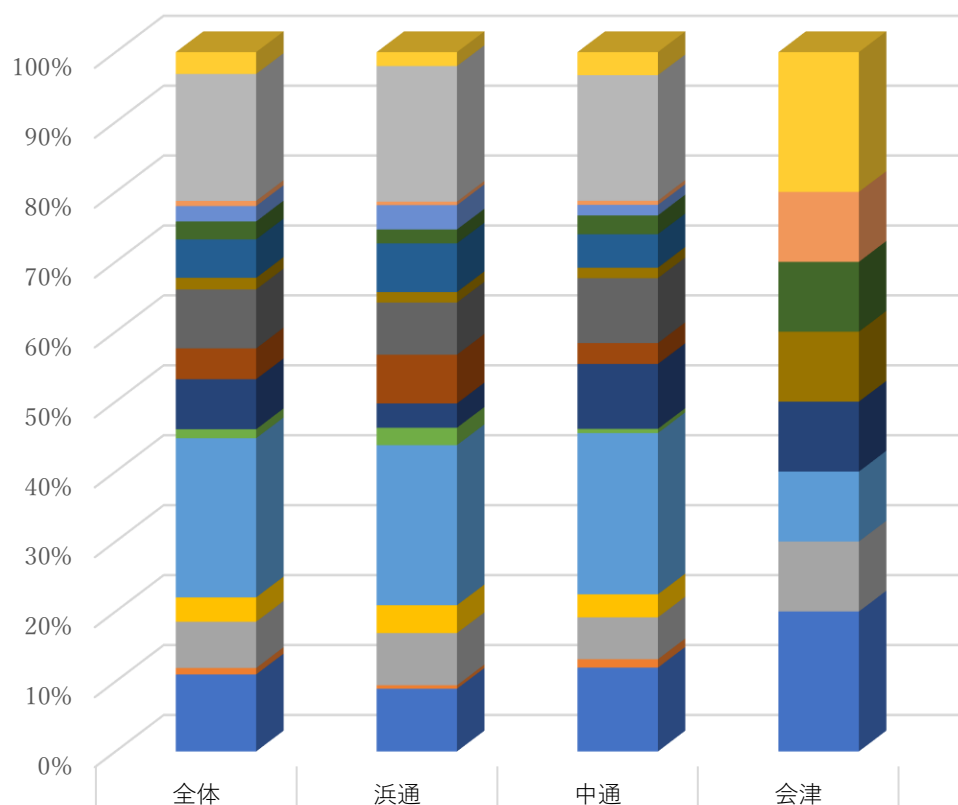
- ・アトピー
- ・橋本病

Q12. 原発事故以前にはなかったが、原発事故後に症状が出たものについて選択してください。複数選択可
(回答者及び家族も集計に含む)

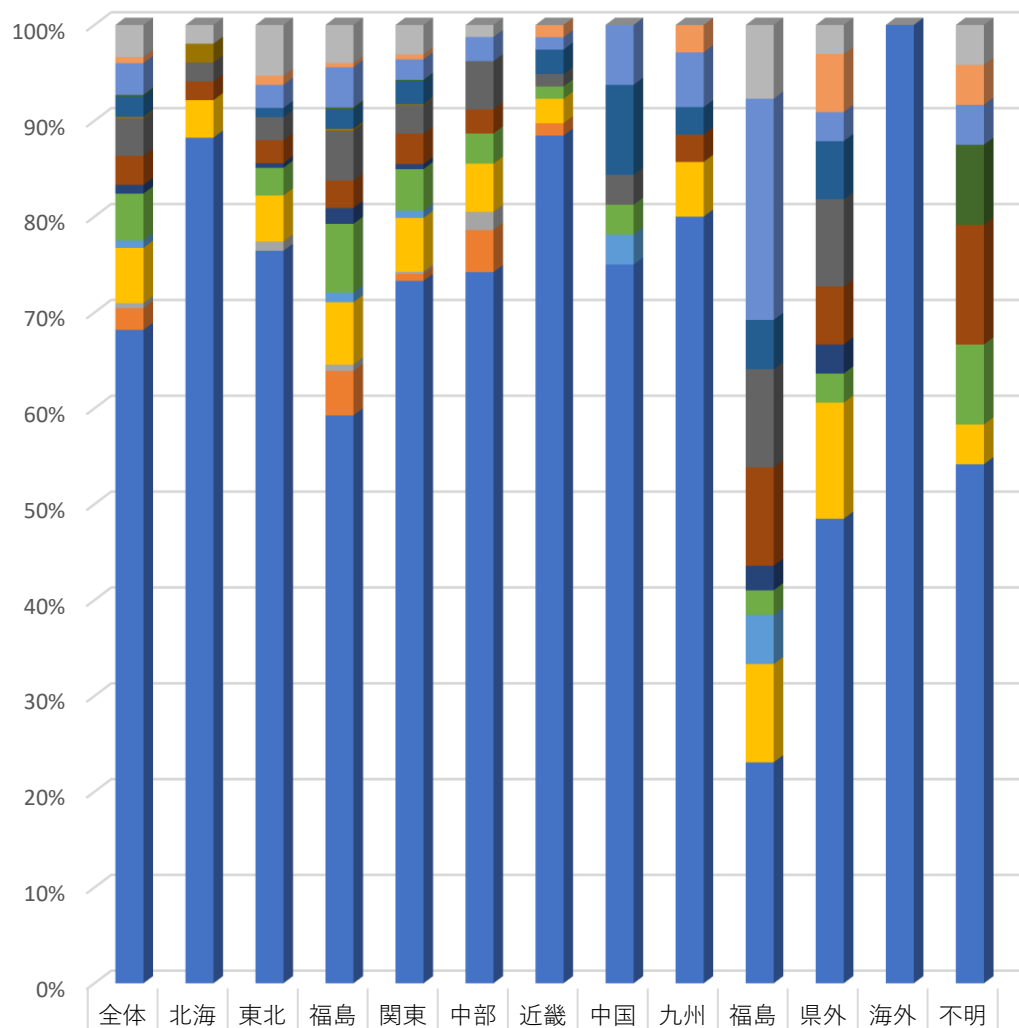


■頭痛 事故後にはあったが今はない	25	1	0	17	3	1	0	1	0	1	0	0	1
■頭痛 時々ある	158	1	11	99	33	4	0	0	1	3	5	0	1
■吐き気 事故後にはあったが今はない	9	0	1	4	0	1	0	1	1	1	0	0	0
■吐き気 時々ある	26	1	1	12	5	1	0	0	0	3	3	0	0
■貧血 事故後にはあったが今はない	23	2	2	14	1	0	0	1	0	1	0	0	2
■貧血 時々ある	57	2	2	30	15	2	0	0	0	5	1	0	0
■めまい 事故後にはあったが今はない	16	0	1	9	3	2	0	1	0	0	0	0	0
■めまい 時々ある	87	1	3	46	23	3	0	0	1	4	3	0	3
■鼻血 事故後にはあったが今はない	58	3	4	24	23	0	0	1	2	0	0	0	1
■鼻血 時々ある	65	0	4	39	14	5	1	0	1	1	0	0	0
■疲れやすい 事故後にはあったが今はない	22	0	0	7	10	1	0	1	1	2	0	0	0
■疲れやすい 時々ある	218	2	19	124	44	3	1	1	1	13	7	0	3
■風邪をひきやすい 事故後にはあったが今はない	33	2	1	19	8	1	0	0	1	1	0	0	0
■風邪をひきやすい 時々ある	78	1	6	36	25	2	0	0	0	3	3	0	2
■手足の骨や関節が痛む 事故後にはあったが今はない	8	0	0	5	1	1	0	0	0	1	0	0	0
■手足の骨や関節が痛む 時々ある	131	1	15	60	32	4	2	0	2	6	5	0	4

【福島県の内訳】

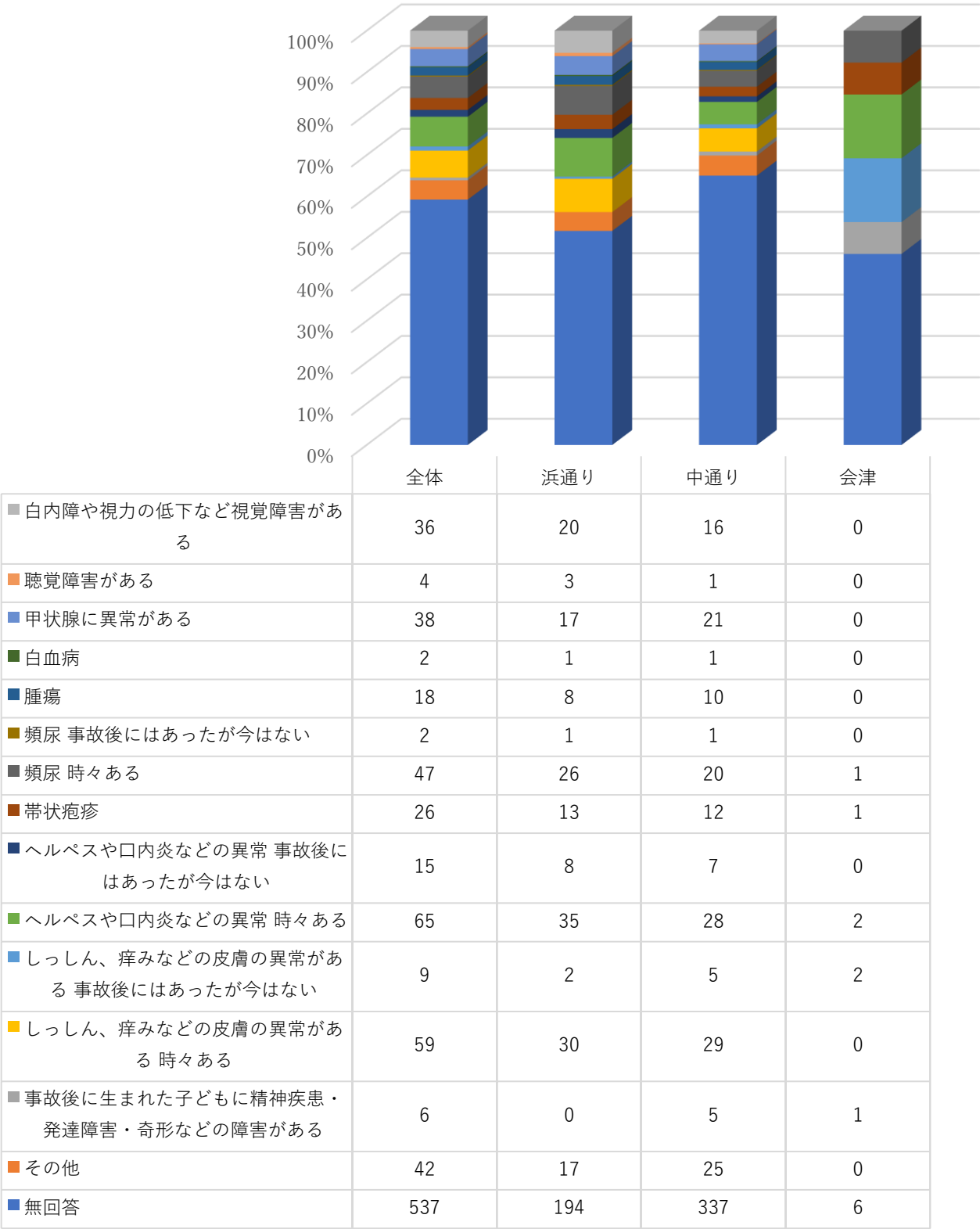


■頭痛 事故後にはあったが今はない	17	4	11	2
■頭痛 時々ある	99	39	60	0
■吐き気 事故後にはあったが今はない	4	1	2	1
■吐き気 時々ある	12	7	5	0
■貧血 事故後にはあったが今はない	14	4	9	1
■貧血 時々ある	30	14	16	0
■めまい 事故後にはあったが今はない	9	3	5	1
■めまい 時々ある	46	15	31	0
■鼻血 事故後にはあったが今はない	24	14	10	0
■鼻血 時々ある	39	7	31	1
■疲れやすい 事故後にはあったが今はない	7	5	2	0
■疲れやすい 時々ある	124	46	77	1
■風邪をひきやすい 事故後にはあったが今はない	19	8	11	0
■風邪をひきやすい 時々ある	36	15	20	1
■手足の骨や関節が痛む 事故後にはあったが今はない	5	1	4	0
■手足の骨や関節が痛む 時々ある	60	18	40	2

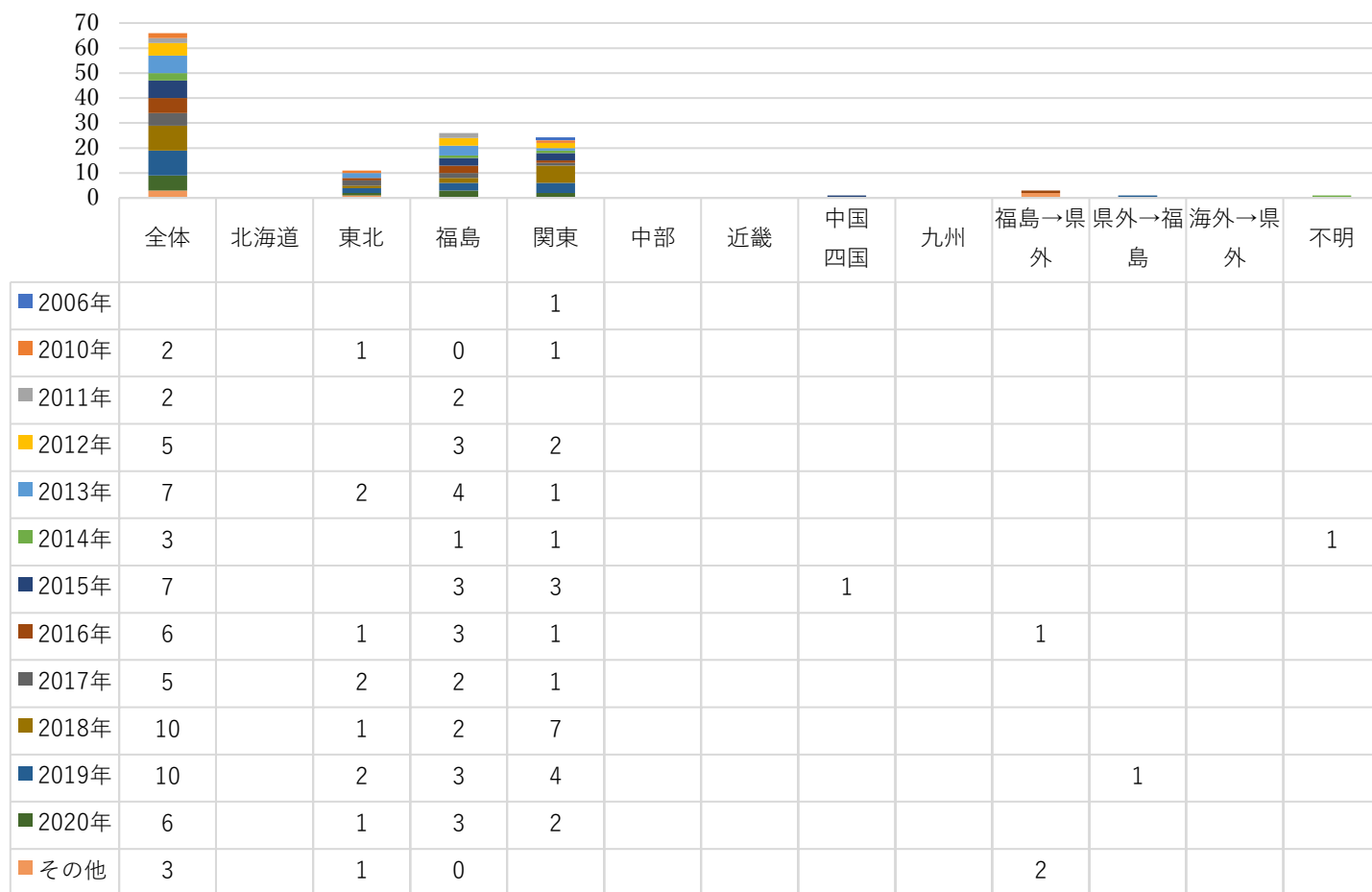


■ 白内障や視力の低下など視覚障害がある	84	1	11	36	29	2	0	0	0	0	3	1	0	1
■ 聴覚障害がある	16	0	2	4	5	0	1	0	1	0	0	2	0	1
■ 甲状腺に異常がある	83	0	5	38	20	4	1	2	2	2	9	1	0	1
■ 白血病	5	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
■ 腫瘍	53	0	2	18	23	0	2	3	1	2	2	2	0	0
■ 頻尿 事故後にはあったが今はない	4	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
■ 頻尿 時々ある	98	1	5	47	28	8	1	1	0	4	3	0	0	0
■ 帯状疱疹	76	1	5	26	30	4	0	0	1	4	2	0	0	3
■ ヘルペスや口内炎などの異常 事故後にはあったが今はない	23	0	1	15	5	0	0	0	0	1	1	0	0	0
■ ヘルペスや口内炎などの異常 時々ある	123	0	6	65	41	5	1	1	0	1	1	0	0	2
■ しっしん、痒みなどの皮膚の異常がある 事故後にはあったが今はない	19	0	0	9	7	0	0	1	0	2	0	0	0	0
■ しっしん、痒みなどの皮膚の異常がある 時々ある	145	2	10	59	53	8	2	0	2	4	4	0	0	1
■ 事故後に生まれた子どもに精神疾患・発達障害・奇形などの障害がある	13	0	2	6	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0
■ その他	57	0	0	42	7	7	1	0	0	0	0	0	0	0
■ 無回答	1713	45	159	537	692	118	69	24	28	9	16	3	3	13

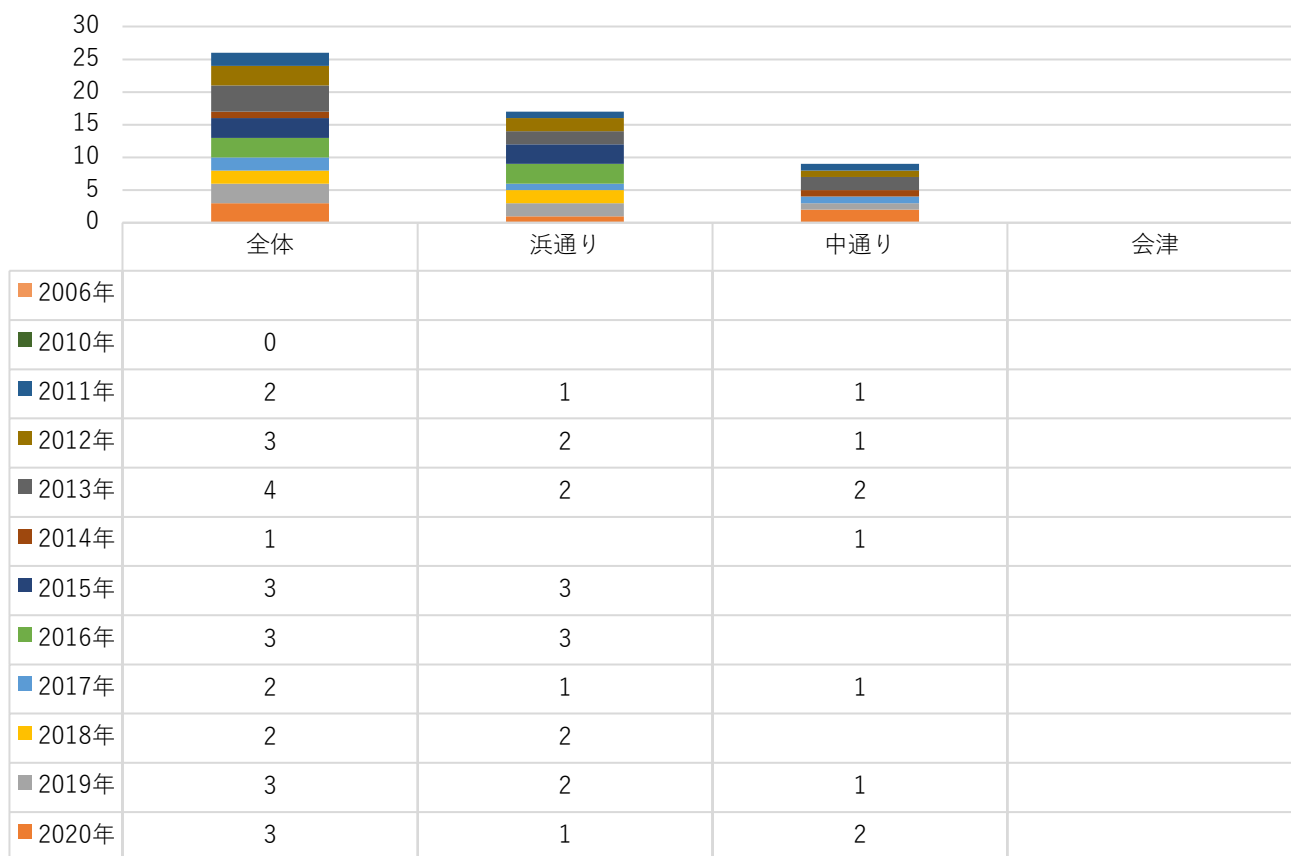
【福島県の内訳】



白内障や視力の低下など視覚障害がある



【福島県の内訳】

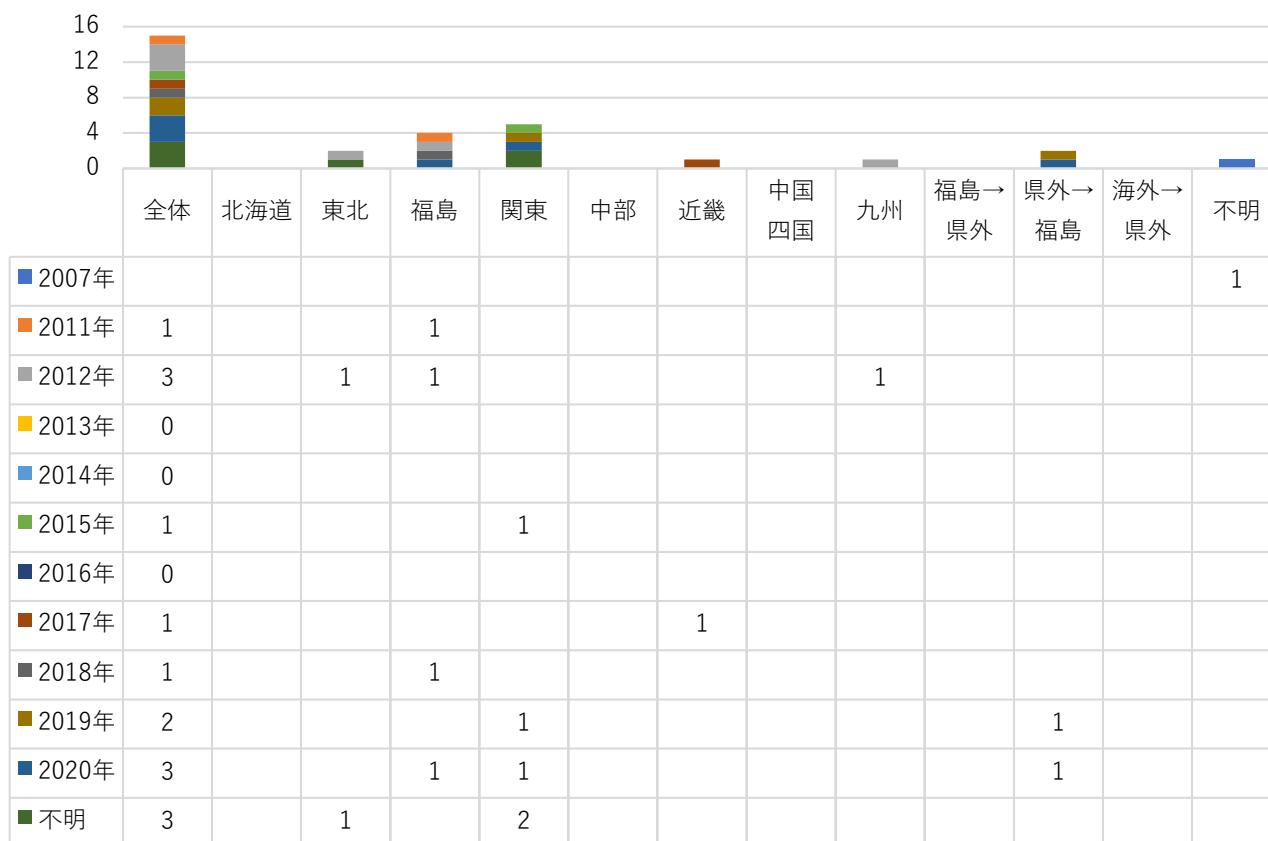


その他

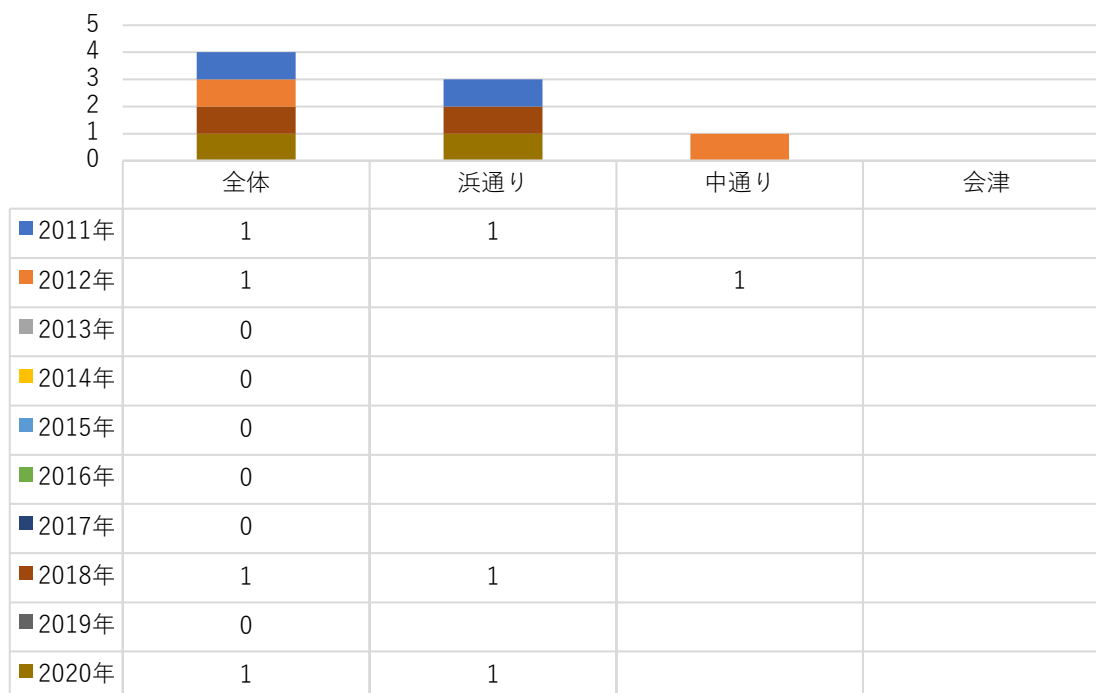
【東北】

- ・元々は緑内障があったが2020年8月頃急に悪化してほとんど見えない
- ・震災前から

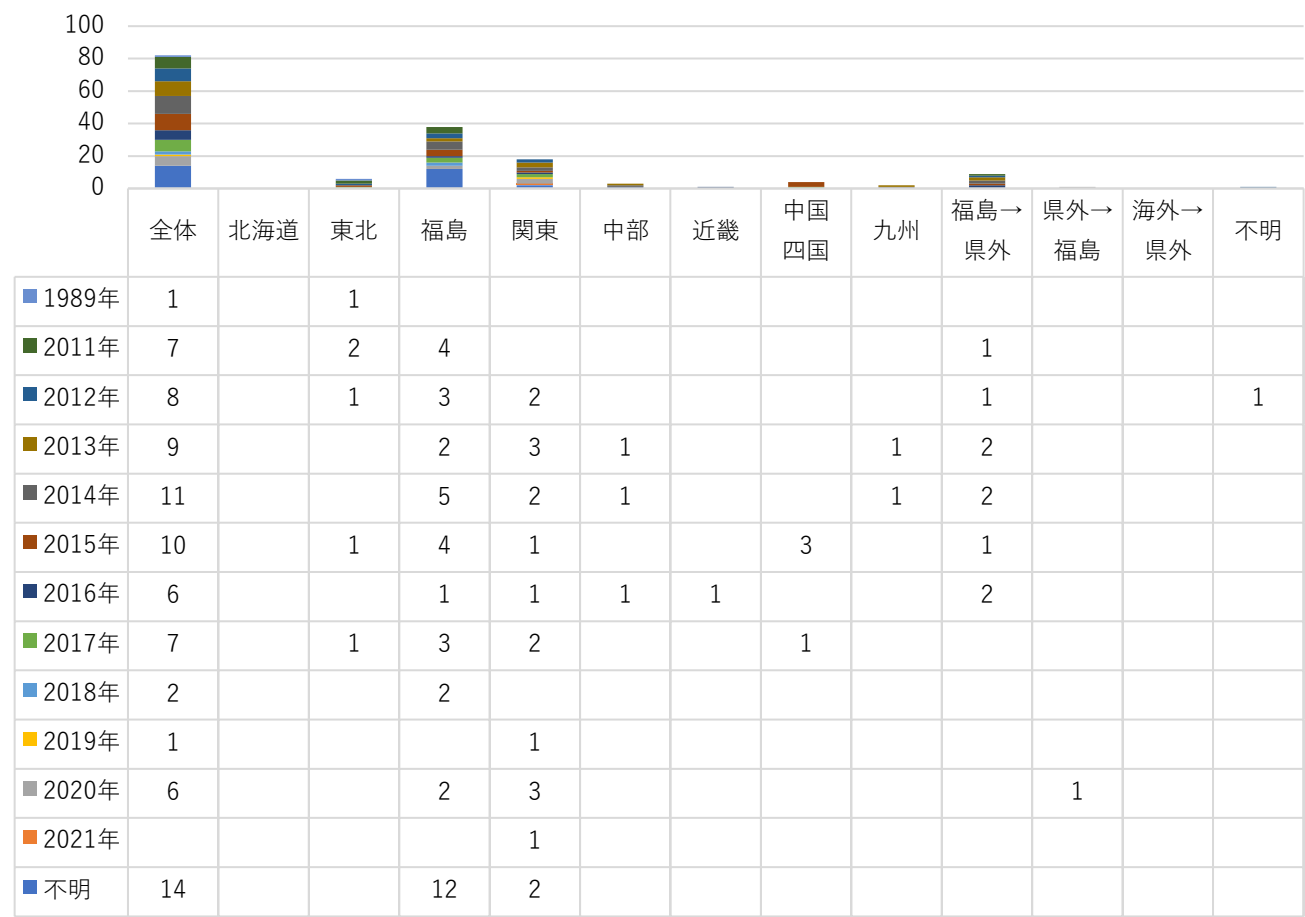
聴覚障害がある



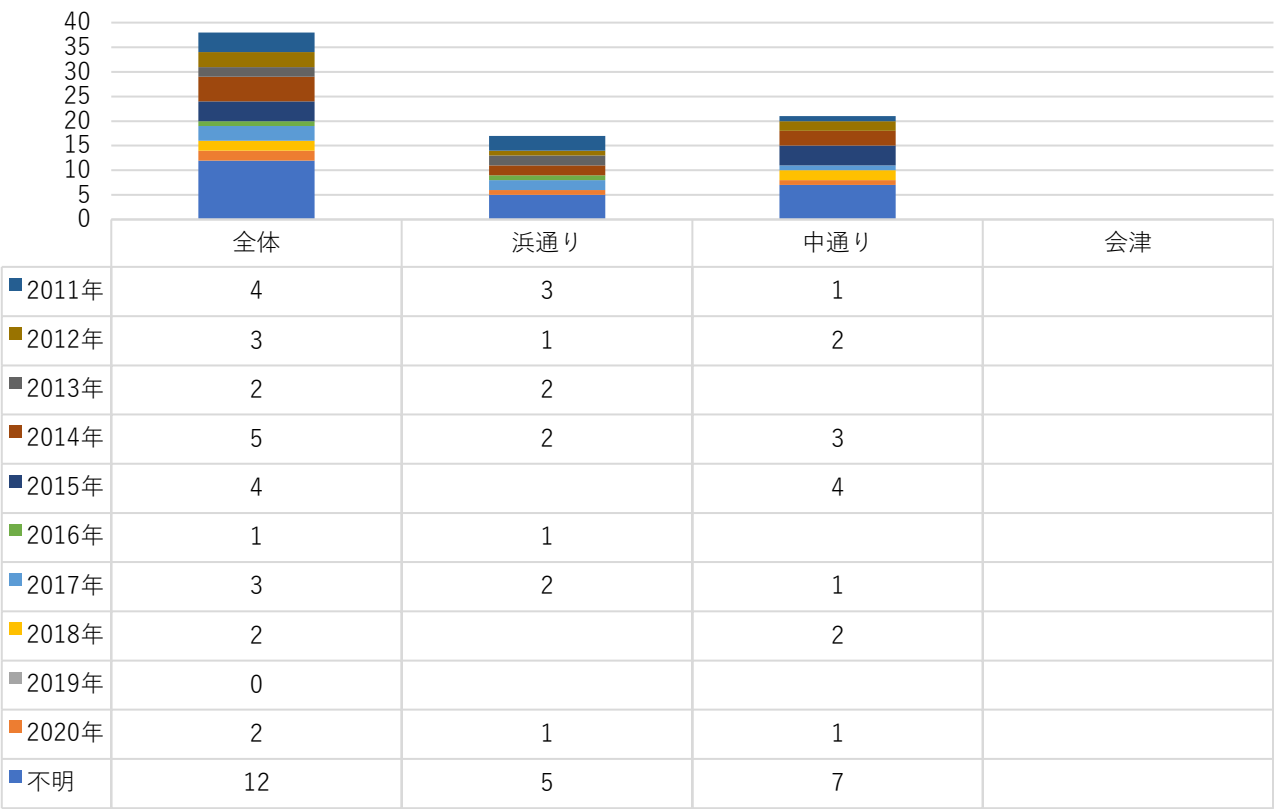
【福島県の内訳】



甲状腺に異常がある



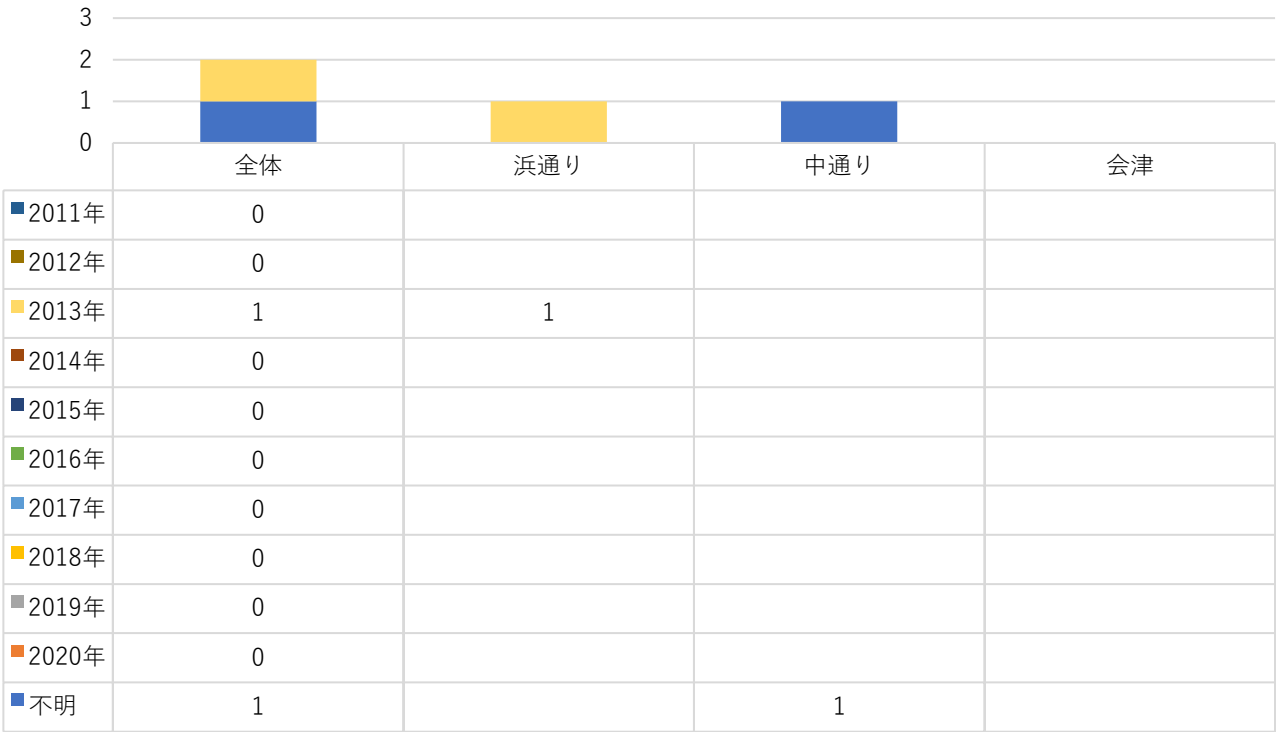
【福島県の内訳】



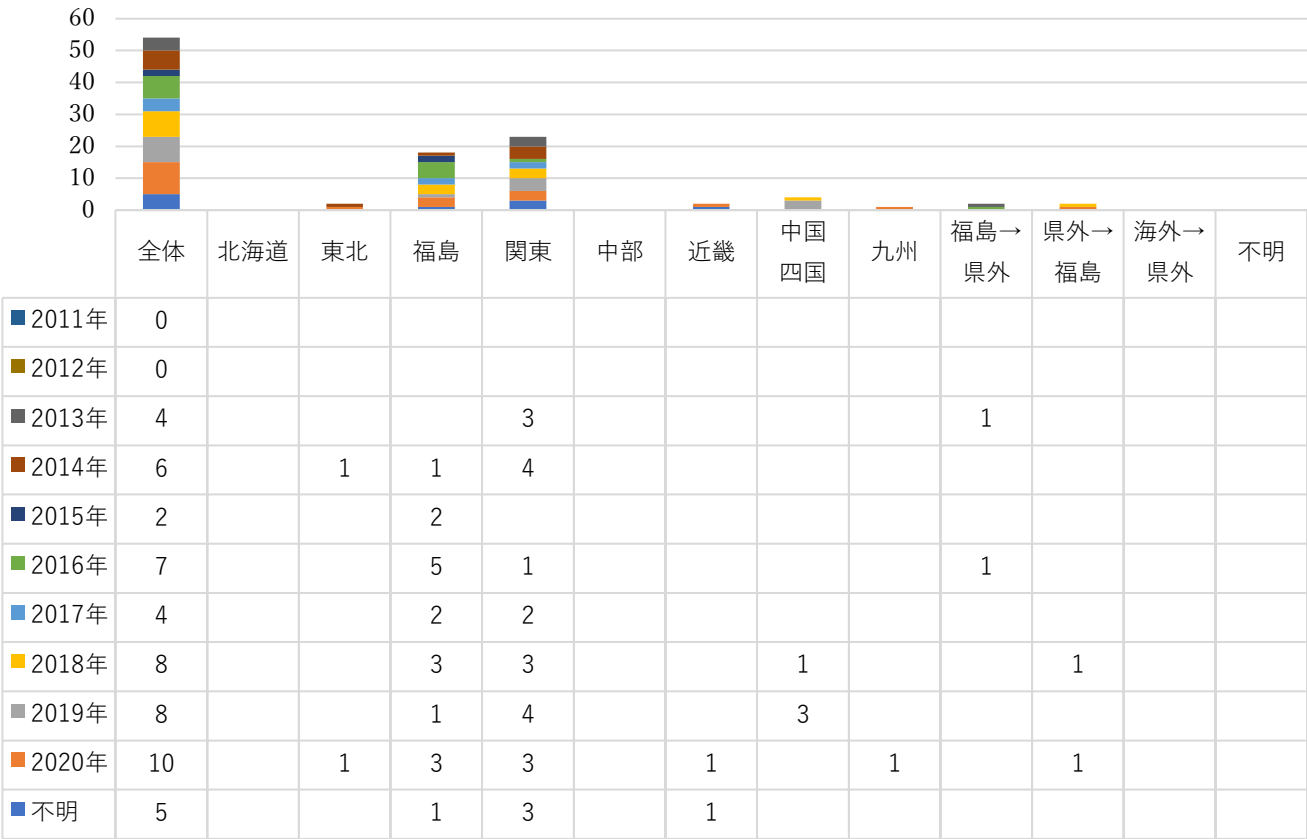
白血病



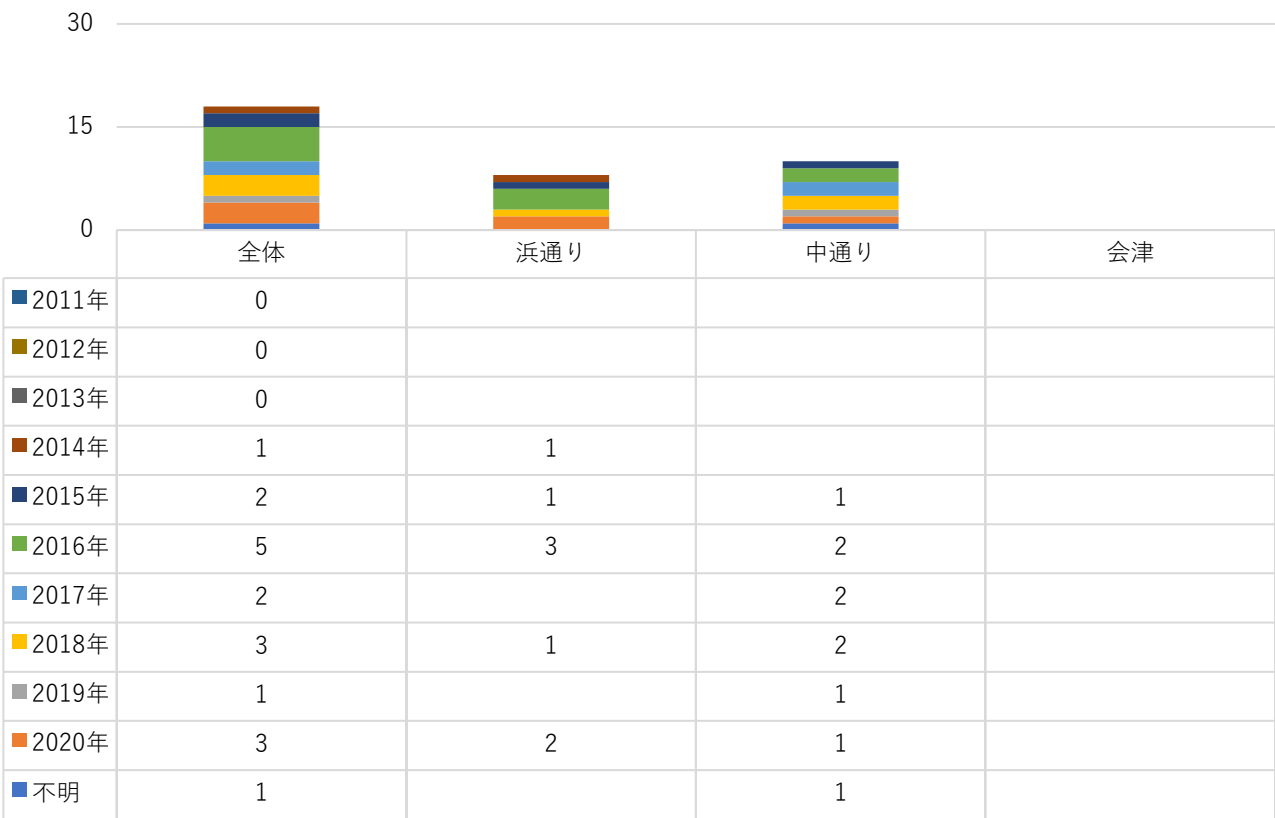
【福島県の内訳】



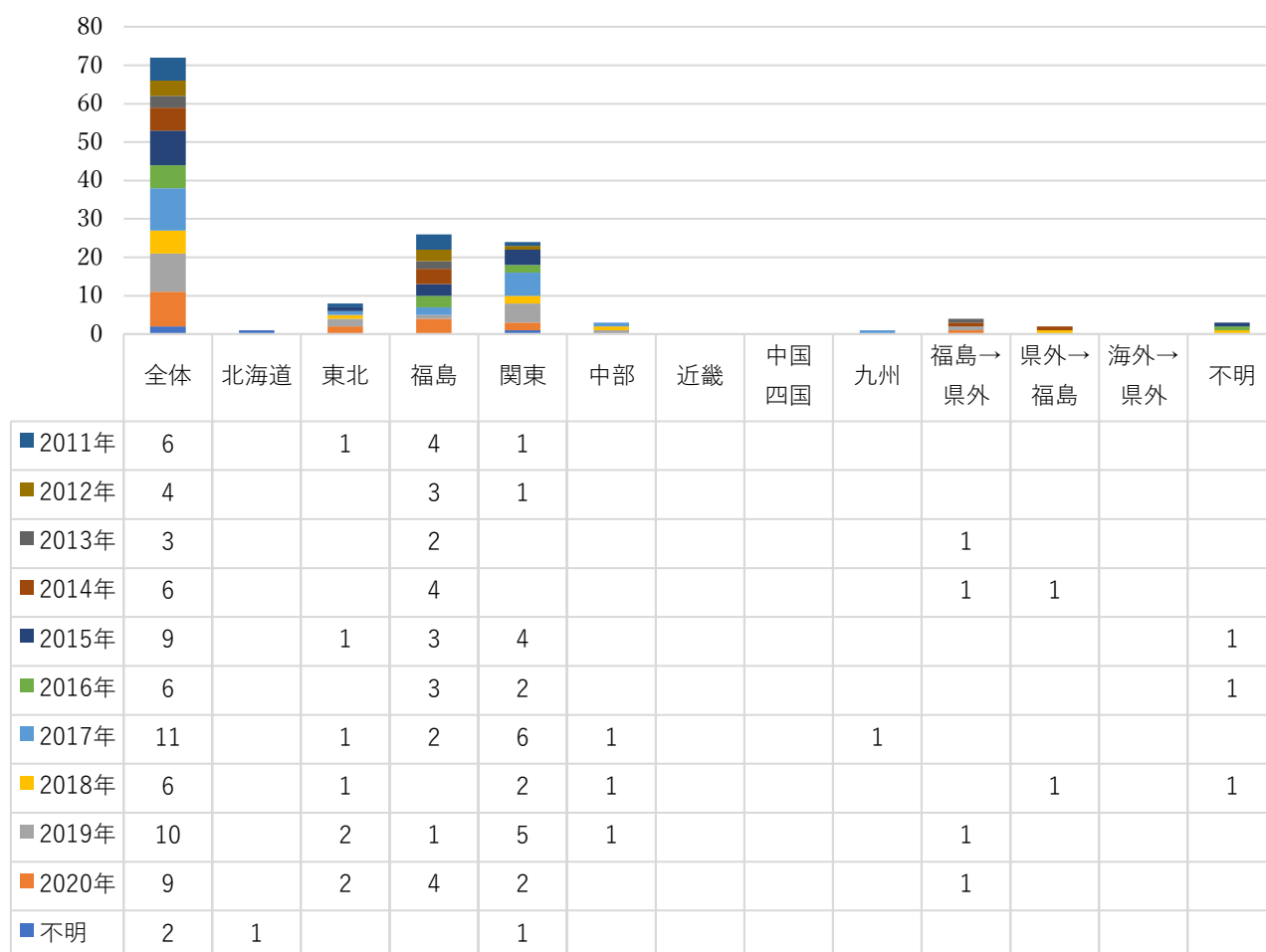
腫瘍



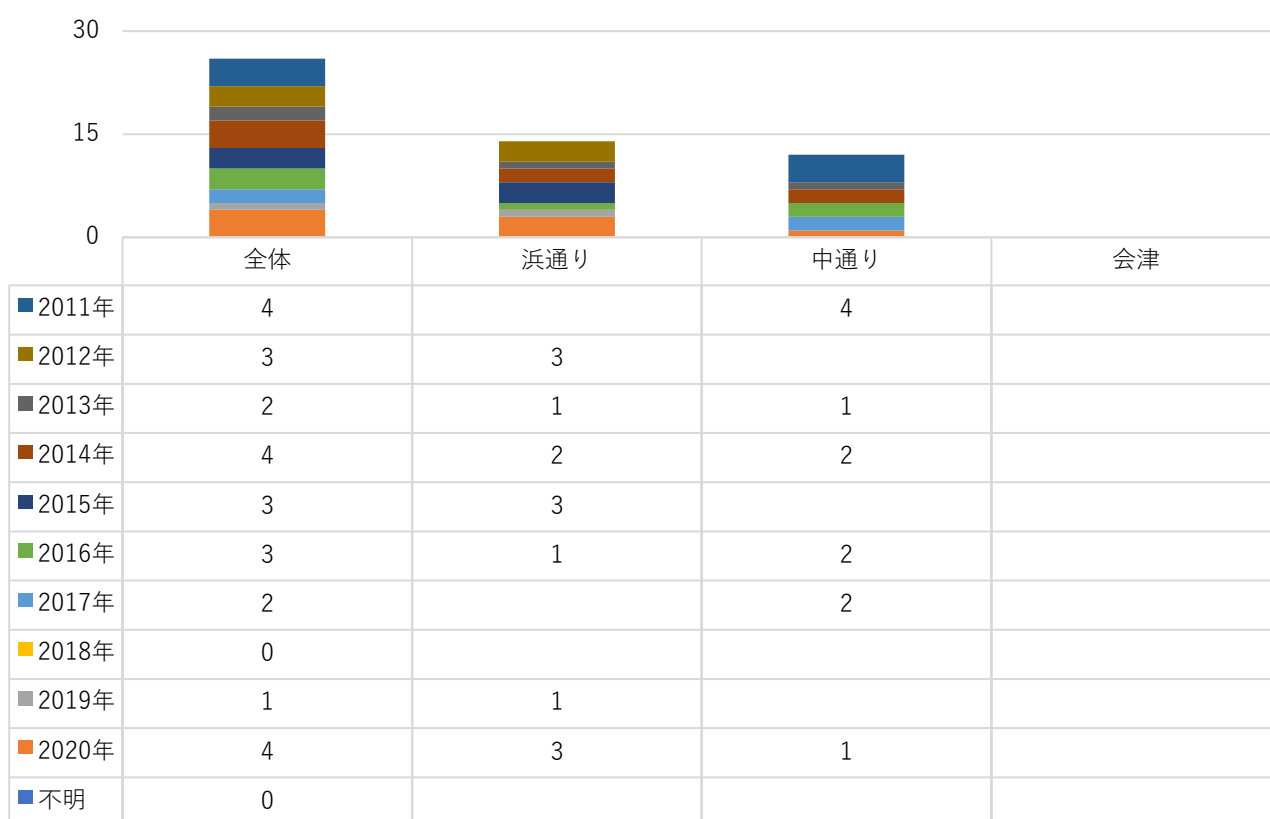
【福島県の内訳】



带状疱疹



【福島県の内訳】



事故後に生まれた子どもに精神疾患・発達障害・奇形などの障害がある

【東北】

- ・発達障害2013年生まれ
- ・2018年生まれ発達遅れ（現在4歳）
- ・自閉症スペクトラム症 2名

【中通り】

- ・子宮内不育症
- ・35週で生まれ低体重児
- ・ファロー四徴症、肺動脈閉鎖症、低身長
- ・ADHDが疑われる
- ・心臓病
- ・出生前に(直前)前例のない肺の異常、皮フの異常があった。未だに診断も病名もつかないが、今のところ元気に育っています。

【関東】

- ・2017年に生まれた次男。Short症候群という疾患がある。今は主だった症状は現れていないが今後症状が出てくるらしい。糖尿病、感性難聴、緑内障、低身長、生歯遅延等々。常性染色優性遺伝子
- ・軽いが停留睪丸(2015年生)今は移動している。
- ・鼻血はそれまで経験したことのないもので、半年に1度3回ほど。
- ・胆道閉鎖症
- ・ドラベ症候群、SCN1Aのミスセンス変異による軽度知的障害
- ・歯がエナメル形成不全

【中部】

- ・ADHD(アスペルガー)多動
- ・ADHD(アスペルガー)こだわりがつよい

【福島→県外】

- ・2012、1月頃落ち着きがなかった

その他

【東北】

- ・事故後アトピー性皮膚炎(2020年8月)
- ・寝ている時など心臓が短時間(数秒)止まる感覚有
- ・加齢によるものです
- ・アレルギーが酷くなった。喘息気味になった
- ・元々レントゲンや薬剤には過敏だったが余計過敏になった様な気がする。副作用がひどくなったような気がする。

【浜通り】

- ・セキが長期間続き、肺の一部に炎症
- ・白内障や視力の低下などの視覚障害がある- 2020年11月頃発症
- ・甲状腺に異常がある-2013年10月頃発症
- ・甲状腺に異常がある-??今、病院予約中
- ・自己免疫疾患-平成26年8月
- ・事故後、4～5年後2回たおれた(低血圧によるもの?との判断)
- ・原因不明の全身のリンパ節の腫張(2回)
- ・不眠
- ・不眠、腰痛
- ・知力の低下
- ・味覚障害(2011年～2016年頃)
- ・生理がこなく、薬にて生理が来るように治療した(当時中1、服薬高2)
- ・アレルギー性鼻炎
- ・しばらく喘息(2011年～2012年)
- ・乳ガン検診にひっかった
- ・第三子が13トリソミー疑いで死産しました
- ・気管支拡張症
- ・下血-事故後にあり、今はなし
- ・ぜんそく(2011/6/4産)
- ・心室中隔欠損症(2020/9/7産、12/1に発覚)

【中通り】

- ・検診で3年前より白血球が少なくなっている
- ・うつ病
- ・脱毛、器官が弱い、高血圧、胃炎、脳梗塞
- ・ワーキングメモリー不足
- ・不明熱、下痢、イライラ、発達障害、新生児仮死
- ・喘息の再発、2012年10月頃から慢性的な倦怠感、身体痛（下肢）
- ・小児喘息、アレルギー
- ・5年前がんで亡くなる
- ・咽頭がん、卵、魚卵、猫アレルギー
- ・地下鉄、エレベーター、映画館がダメだったが今大丈夫
- ・背骨湾曲、車に乗ると酔う
- ・過呼吸、スギ花粉になった
- ・はげ
- ・髪の毛の脱毛
- ・車に乗ると酔う

【会津地方】

- ・帯状疱疹-5回位発症
- ・事故後に産まれた子どもに精神疾患・発達障害・奇形などの症状がある-肺動脈狭窄症、斜視(2012.2.2生まれ)

【関東】

- ・心筋梗塞(2018年10月)
- ・心筋梗塞(2019年10月)
- ・下痢多発
- ・脱毛、脳出血、化学物質過敏症
- ・乳がん(6年前)
- ・偏頭痛(半年前から)
- ・手足口病、不整脈
- ・胸の苦しみ、脱毛
- ・体部白癬腰（2015年）
- ・糖尿、高血圧、脂質異常
- ・認知力の低下、脳梗塞、高血圧、心不全
- ・心臓弁膜症、弓部動脈癌手術、臓機能低下、慢性心不全
- ・手の皮ふが突然紫色になる部分があり、消える
- ・顔や首、腕に紫色のアザのようなものが突然できて消える
- ・食道がん
- ・食物アレルギー
- ・2011年4月に流産
- ・不整脈
- ・下痢が続いた。喉の痛み。足がむくむ＋痛み。怠い、やる気が起きない
- ・鼻がずっとたれる感じがする
- ・好中球の減少・異形リンパ球有
- ・2015年子宮頸がん発症して2018年死亡
- ・心臓に疾患
- ・2014年長男が産まれましたがグレーと判断されました。（現在は特別クラス待ち）
- ・身体のある部分が痛む事があった
- ・脳梗塞4回　2019年に死亡
- ・結膜炎、粉瘤、鼻穴の出来物
- ・うつ病
- ・落ち着きがない、集中できない
- ・喘息、生後10か月
- ・アトピー、目が悪い、落ち着きがない、時々鼻血。北風吹いた時によく出る。
- ・2013年1月ごろ甲状腺に異常を発症
- ・膠原病
- ・糖尿病
- ・少々やる気が少なくなった
- ・甲状腺機能低下

【中部】

- ・1型糖尿病発症(2013年)
- ・2015年脳出血でたおれた

【中部】 つづき

- ・ 高血圧、心臓弁膜症
- ・ この質問に回答すると、すべての体調変化(加齢によるものなども)が原発事故のせいにみたいになっちゃいますよね
- ・ ムネの苦しさが約7～8年続いた
- ・ 下痢
- ・ アトピー発症
- ・ 肝臓膵臓障害・投薬
- ・ 心筋梗塞(1年後なので相関関係は不明)

【近畿】

- ・ 鼻血 事故後3年間続いた。(3/24～4/2福島から気仙沼でボランティア)
- ・ 腫瘍 事故後2～3年後に手術
- ・ 心房細動手術(2013年)
- ・ 心臓手術(2017年)
- ・ マムシに噛まれ入院(2019年)
- ・ 心臓手術(2020年)

【中国・四国】

- ・ 心筋梗塞(1年後なので相関関係は不明)

【九州】

- ・ 上記は痛むというより同じ姿勢を長く続けると固まる感じ、加齢ゆえと思うが
- ・ 下痢 2名
- ・ 2011年～2年間位、食品アレルギーがひどかったです
- ・ 2012年～歯が3本抜けました
- ・ 熱咳で入院したことがある

【福島→県外】

- ・ 事故後一時期すごい眠気があったが今はない
- ・ 2012年、円形脱毛症発症。部分ウィッグ着用。現在は完治。発症13歳
- ・ 突発的な発熱
- ・ 気づかれする
- ・ のどの出血、せき
- ・ 今年、シェーグレン症候群と認定
- ・ 発達障害のけいこうがある
- ・ 完全型房室中隔欠乏症
- ・ 低体重
- ・ 発達障害
- ・ 気管支喘息
- ・ 橋本病
- ・ 気管支喘息
- ・ 腎臓結石
- ・ 血小板減少紫斑病
- ・ けっぺき症
- ・ 上皮細胞に甲状腺腫瘍

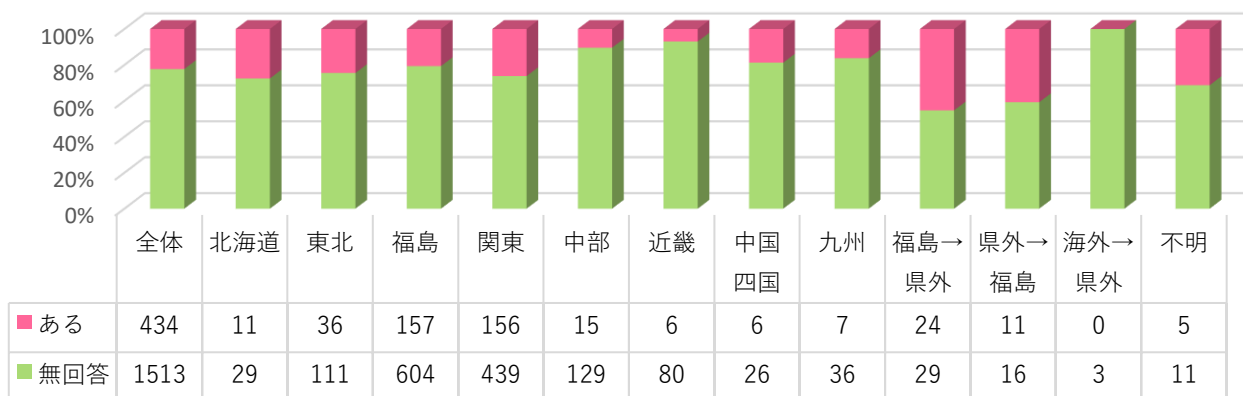
【県外→福島】

- ・ 精神的恐怖

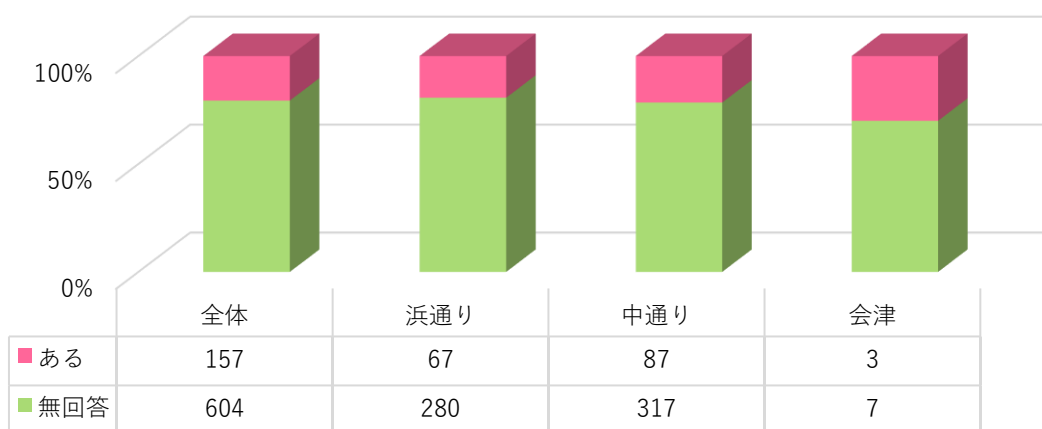
【地域不明】

- ・ SAPHO症発症

Q13. 原発事故後から現在までに入院したり、通院したことがありますか？
ある場合は、時期と症状(病名)をお書きください。(回答者及び家族も集計に含む)



【福島県の内訳】



【北海道】

- ・白内障(2019年)
- ・肝臓結石(2020年)
- ・鼻血(2015年)、硬膜下出血(2015年)
- ・高血圧、頸部ヘルニア(2014年)、若年性パーキンソン症候群(2016年)
- ・胆のう炎(2011年)
- ・脳梗塞(2011年)
- ・子宮がん(2011年)
- ・前立腺腫瘍(2014年)
- ・白内障手術(2020年)
- ・椎間板ヘルニア(2018年)

【東北】

- ・原因不明の腰痛(28歳)
- ・熱性けいれん2年に1回位(1～5歳)、インフルA(5歳春)、インフルB(5歳冬)
- ・甲状腺(35歳)
- ・SAS(2012年)
- ・乳ガン(2014年)
- ・結節性甲状腺腫(2012年)
- ・肺炎、インフルエンザで入院(2011年)、2013年6月病院で死亡
- ・口内炎(口の中にガン)通院、入院(2017年)、2017年8月死亡
- ・心筋梗そくで死亡(2013年)
- ・ガン(2014年)

【東北】 つづき

- ・膀胱癌(2014年)
- ・左膝良性軟部肉腫(2020年)
- ・心室細動(2016年)
- ・骨折(2020年)
- ・軽い脳出血(2012年)、重い脳出血(2015年)
- ・逆流性食道炎(2013年)、高コレステロール(2015年)
- ・小腸えし(2018年)
- ・出産(2011年)
- ・大腿骨骨折(2013年)、肺炎(2020年)
- ・小腸GIST(2020年)
- ・左大腿骨頭すべり症(2018年)
- ・脳内出血(2017年)
- ・帯状疱疹(2017年)、うつ病(2017年)、帯状疱疹(2019、2020年)
- ・肺炎(2015年)
- ・メニエール症候群(2019年)
- ・胆石症(2012年)、高コレステロール(2018年)、糖尿病(2020年)
- ・腸閉塞(2014年)、半月板損傷(2018年)、慢性胃炎(2020年)
- ・腸ポリープ(2020年)
- ・原因不明足の痛み(2020年)
- ・左卵巣のう腫(手術)(2012年)
- ・ソケイヘルニア(2013、2014年)
- ・転換性障害(2018年)
- ・突然全身が動けなくなる(2018、2019、2020年)
- ・糖尿病、緑内障(事故ずっと前から)
- ・うつのような症状(2011年)
- ・虚血性大腸炎で入院(2015年)

【浜通り】

- ・肺炎(一部)セキ、発熱(37.5℃～)(2012年頃)
- ・ヘルペス(口、唇)大人になってはじめて(2011年秋頃)
- ・不整脈(2013年から)
- ・甲状腺のう胞(良性)(2012年頃)
- ・EVウイルスによる発熱(2012年頃)
- ・近視(2020年頃)
- ・肺炎
- ・甲状腺検査で毎回再検査指摘
- ・白内障(2015年)
- ・自己免疫疾患(2014年)、縦後靱帯骨化症(2018年)
- ・顔面神経マヒ(2020年7月)、喘息(2020年11月)
- ・乳癌(2016年)
- ・右肩腱板断裂(2016年)、右肘神経移動(2018年)
- ・白内障(2011年)、蓄膿症(2011年)
- ・左乳癌(2020年)、甲状腺腫張(2017年)
- ・甲状腺のう胞(2011年)
- ・肺炎入院
- ・全身リンパ節の腫張(2015年)
- ・白内障(2016年)、関節の痛み(2021年)
- ・食道がん(2016年)、皮フのトラブル(2019年)、心臓腫瘍(2019年)
- ・年のせいもあるのでしょうか？今までにない年より病気が出ています
- ・精巣がん(2013年)
- ・胆のう炎(2015年)
- ・肺炎(2012年8月 3日入院)
- ・じんましん、発熱(原因不明)2020年10月
- ・子宮全摘(病理は異常なし)2018年5月
- ・敗血症(2016年)
- ・鼻炎(2011年8月～2012年2月)、狭心症の疑い・高血圧症(2015年)、白内障(2017年)
- ・前立腺がん疑い(2019年～2020年定期的に通院)

【浜通り】 つづき

- ・頭痛(2012年)、めまい(2016年)
- ・中耳炎チューブを入れた(2012年)、中耳炎癒着を手術(2013年)、アデノイド(2014年)
- ・膀胱炎何度も(2011～2012年)、カンジタ何度も(2011～2015年)、不安症うつ病(2015年～)
- ・腰痛(2016年)
- ・総合失調症(2014年)
- ・壊死性リンパ節炎(2018年)
- ・大腸ポリープ(2019年)
- ・味覚障害(2013年～2014年)
- ・胆のう炎(2014年)
- ・胃ガン(2014年)
- ・生理不順(2014年)
- ・肺炎(2012年)
- ・膿疱性乾癬(2013年)
- ・口腔扁平苔癬(2013)、舌がん(2016年)
- ・アレルギー性鼻炎(2011年)
- ・急性壊死リンパ節炎(2015年)
- ・のどの腫、痛み(2020年4月)、虚血性大腸炎(2013年11月)
- ・たんのうポリープ(2019年)
- ・目疾患(2019年)
- ・白内障(2012年)
- ・卵巣出血(2016年)
- ・貧血(2020年)
- ・高脂血症(2019年3月)
- ・片頭痛(2019年7月)
- ・痔ろう(2020年)
- ・尿路感染症(2013年)
- ・鼠径ヘルニア(2018年)
- ・白内障(2019年)
- ・逆流性食道炎(2011年)、関節痛、橋本病(2012年)、手術あとの悪化、背中痛・胸痛(2013年)
- ・脂質異常(2012年)
- ・骨折(2018年12月)
- ・ぜんそくを伴う肺炎(2013年)
- ・肺炎(2012年)
- ・かいよう性大腸炎(2015年)
- ・ヘルニア(2018年)

【中通り】

- ・白内障手術(2016年)
- ・歯周病
- ・大腸炎
- ・くる病(2013年)
- ・虫歯(2015年)
- ・中耳炎(2012年)
- ・うつ(2012年)
- ・白内障手術(2016年)
- ・脳こうそく(2013年)、脳こうそく(2015年)、たしちょうかいよう(2011年)
- ・シェーグレン症候群(2019年)
- ・骨折(2019年)
- ・白内障(2013年)
- ・川崎病(2016年)
- ・痔(2017年)
- ・脳こうそく(2012年)
- ・脳腫瘍(2014年)
- ・リュウマチ(2019年)
- ・心臓(2012年)→2014年10月死亡
- ・胃がん(2019年)
- ・RSウイルス(2013年)
- ・甲状腺癌(2019年)
- ・初期乳がん(2018年)

【中通り】 つづき

- ・慢性肝炎(2011年～2020年)
- ・慢性感冒(2011年～2013年)
- ・直腸がん(2018年)、急性すい炎(2019年)
- ・片頭痛(2012年)
- ・高熱けいれん(2013年)
- ・糖尿病(2012年)
- ・大腸がん(2019年)
- ・総合失調症(2019年)
- ・双極性障害(2017年)
- ・大腸ポリープ(2011年)
- ・心筋こうそく、脳こうそく(2015年)、咽頭がん(2019年)
- ・脳出血(2016年)
- ・甲状腺腫瘍(2018年)
- ・橋本病(2015年)
- ・小児がん(2020年)
- ・喘息(2015年)
- ・大腸ポリープ(2017年)、白内障(両眼)(2019年)
- ・内科、胃炎、コレステロール(2011年)、歯科、眼科定期
- ・じんましん(2016年)
- ・前立腺がん(2016年)
- ・バセドウ(2014年)、脳梗塞(2015年)
- ・総うつ病(2020年)
- ・不明、熱(2012年、2013年、2014年)
- ・整形(3か月に1回)、心療内科(1か月に1回)
- ・気胸(2014年)
- ・急性骨髄性白血病(2015年)
- ・気管支喘息(2020年)
- ・脳こうそく(2012年)
- ・胃がん(2015年)
- ・多発性神経炎(2012年)
- ・中耳炎(2011年～2014年)
- ・中耳炎(2013～2016年)
- ・ファロー四徴症、肺動脈閉鎖症(2013年)、中耳炎(2013～2018年)、虫垂炎(2020年)
- ・橋本病(2017年)
- ・子宮筋腫(2015年)
- ・アデノイド切除(2013年)
- ・流産(2012年)、子宮内不育症により入院早産(2016年)
- ・不整脈(2011～2014年)、不眠(2011～2018年)
- ・右大腿骨骨嚢腫(2012年)
- ・マイコプラズマ肺炎(2011年)
- ・ぼうこう癌(2014年)
- ・アレルギー性鼻炎(2013年)
- ・アレルギー性鼻炎(2014年)、腰痛(2015年)
- ・マイコプラズマ(2017年)
- ・神経障害性疼痛、線維筋痛症(2015年)
- ・急性胆嚢炎(2016年)、悪性リンパ腫(2017年)、胆のう摘出(2020年)
- ・胆のう摘出(2016年)
- ・糖尿病(2019年)
- ・甲状腺ガン(2015年)、SLE(2016年7月、12月)、くも膜下出血(2019年12月)
- ・熱性けいれん1～3泊程、年1回入院(2011～2016年)
- ・PMS子どもへのイライラ(2016年)
- ・甲状腺(結節)腫瘍(2018年)
- ・子宮筋腫(2015年)、ぜんそく(2020年)
- ・気管支喘息(2017年)
- ・40年前からシェーグレン症候群
- ・甲状腺(2015年)
- ・甲状腺腫瘍(2015年)
- ・肺炎2回(2012年)
- ・乳がん(2019年11月)
- ・がん(2017年)

【中通り】 つづき

- ・骨折(2012年)、かかとの骨折(2014年10月)
- ・胃炎(2011年)、湿疹(2012年)、アレルギー性鼻炎(2018年)
- ・高血圧(2011年)
- ・鼓膜せん孔、副鼻腔炎(2012年)、めまい(2015年)
- ・鼻血が頻繁に出ていた(2014年～)
- ・出生前に前例のない肺の異常、皮フの異常があった
- ・乳ガン(2017年)
- ・肺炎(2011年、2012年)

【会津地方】

- ・生まれた時から(2012.2.2)-肺動脈狭窄症
- ・魚アレルギー、皮フ湿疹、痔(2011年頃)
- ・皮フ湿疹、風邪(2011年頃)

【関東】

- ・白内障手術(2013年)、心筋梗塞(2018年)
- ・甲状腺ガン手術(2019年)
- ・弁膜症手術(2019年)
- ・脳血管剥離(2018年)
- ・肺気腫(2019年)
- ・痔(2019年)
- ・乳がん(2016年～2017年)
- ・胃がん(2015年)
- ・左脳内出血(2008年)
- ・化学物質過敏症(1998年)
- ・胃がん(2018年)
- ・帯状疱疹(2019年)
- ・short症候群(2017年)
- ・大腿骨骨折(2012年)
- ・虫垂炎(2019年)
- ・喘息(2011年12月)、頸部リンパ節炎(2014年8月)
- ・適応障害(2011年)、狭心症(2019年)
- ・乳がん手術(2015年)
- ・脳梗塞(2020年)
- ・流産(2020年)
- ・乳癌(2019年)、変形膝関節症(2013年)
- ・乳がん(2019年)
- ・気管支ぜんそく(2010年～現在)
- ・上室性頻脈に対する電氣的細却装置
- ・肺炎(2016年)
- ・帯状疱疹(2020年)
- ・腸閉そく(2019年)
- ・白血病(2016年)
- ・大腿骨骨折入院(2019年)
- ・乳がん(2014年)
- ・胃がん(2017年)
- ・熱中症下血(2014年)
- ・うつ(2018年)
- ・がん(2012年、2018年)
- ・甲状腺肥大
- ・腸管大量出血(2018年)
- ・大腸がん(2017年)
- ・肺(2018年)
- ・WPWのためアブレーション(2019年)
- ・卵巣腫瘍(2014年7月)
- ・緑内障手術(2019年)
- ・心房細動(2019年)
- ・白内障(2020年)
- ・糖尿病性による白内障(2015年)
- ・低音障害型感音難聴(2020年)

【関東】 つづき

- ・膠原病(2015、2018年)
- ・マイコプラズマ肺炎(2018年)、喘息アレルギー増悪(2020年)
- ・尿管結石(2013年)、胆石、胆のう炎(2017年)
- ・喘息(2017年)
- ・喘息(2012、2015年)
- ・胆どうへいさ(2013年)、胆汁性肝硬変(2014年)
- ・鼻るいかん閉鎖(2018年)、気管支炎(2019年)
- ・带状疱疹(2015年)
- ・二分脊椎(9年前)
- ・皮フがん(2014年)
- ・そけいヘルニア(2014年)
- ・甲状腺水胞アリ(2013年、2016年)
- ・乳ガン(2013年)
- ・胸、心臓の痛み(2013年)、頭部脱毛(2014年)
- ・腰にゼニタムシ(2015年)
- ・せき柱管狭さく(2012年)
- ・白内障(2018年)
- ・急性胃潰瘍(2013年)、大腸ポリープ隔除(2013年、2019年)
- ・食道炎(2018年)
- ・生活習慣病(2013年～現在)、手の腫瘍ほくろ(2021年)
- ・脳梗塞→死亡(2014年～2015年)
- ・弓部動脈瘤解離、腸骨動脈瘤(2015年)、心不全(2015年～現在)
- ・心臓発作(2013年)→死亡
- ・骨折(2020年1～3月)
- ・蜂窩織炎(2020年)
- ・食道ガン(2016年)
- ・肺炎(2012年)
- ・咳ぜんそく(2016年)
- ・骨折(2017年)
- ・膵臓癌(2018年)
- ・白内障(2020年)
- ・感染症(2019、2020年)
- ・すい臓ガン(2017、2018年)
- ・脊柱管狭窄症(2016年)
- ・白内障手術(2018年)
- ・乳がん(2019年)
- ・心房細動(2017、2019年)
- ・悪性リンパ(2018年)
- ・白内障手術(2019年)
- ・带状疱疹(2017年)
- ・高血圧(2019年)
- ・直腸ポリープ(2015、2016、2019年)
- ・甲状腺腫瘍(2014年)
- ・一過性全健忘(2012年)、眼内炎(2014年)
- ・甲状腺ガン(2019年)
- ・軟口蓋の癌(2012年)
- ・胃かいよう(2018年)
- ・甲状腺がん(2019～2020年)
- ・下肢静脈血栓症(2012年)
- ・子宮ケイガン(2015年)
- ・尿管結石(2014年)、白内障(2018年)
- ・甲状腺がん(2012年)、大腸がん(2019年)
- ・切迫流産(2016年)
- ・肺炎(2014年)
- ・肺炎(2014年)
- ・虚血性心疾患(2010年)
- ・带状疱疹(2017年)
- ・うつ病 継続(2014年)、ギランバレー症候群(2018年)
- ・肺炎(2019年)
- ・白内障(2018年)

【関東】 つづき

- ・乳がん、甲状腺がん(2020年10月～)
- ・心房細動(2019年)、ぼうこうガン(2019年)
- ・症状わからず身体のある部分が痛みだす(時々)(2017～2019年まで)
- ・甲状腺がん(2018年)
- ・甲状腺がん及び首の悪性腫瘍(2015年)、黄ばん変性なんとかと白内障、目の病気
- ・脳梗塞(2017、2020年)
- ・偏頭痛(2019年)
- ・頭痛(2020年)
- ・胃潰瘍(2016年)
- ・アトピー(2010～2020年)、肉芽腫性口唇炎(2019年)
- ・白内障(2018年)
- ・心房細動(2015年)、子宮内膜症(2017年)
- ・脳梗塞(2013、2015、2018年)
- ・網膜剥離白内障(2013年)
- ・食道がん(2016年)
- ・気管支喘息(2017年5月、8月)
- ・前立腺ガン(2015年)
- ・足骨折(2015年)
- ・脳梗塞(2019年)
- ・子宮筋腫、子宮頸部上皮異形成(2012年)
- ・乳ガン(2011年)
- ・じんましん(2011～2012年)
- ・うつ(2011年)
- ・とびひ、アトピー(2012年)
- ・脱水症状(2017年)
- ・睡眠時無呼吸症候群(2020年)
- ・前立腺がん(2018年)、脊柱管狭窄症(2011年)
- ・甲状腺乳頭がん(2015年)
- ・皮フ炎(2012年)
- ・大腸炎(2014年)
- ・頭痛で入院(2018年)
- ・うつ(2014年)
- ・乳がん(2020年)
- ・うつ病(2012年)
- ・食道がん(2017年)
- ・小児てんかん(2020年)、弱視(2012年)
- ・低ナトリウム症(2020年)
- ・舌がん(2017年)
- ・腎結石(2020年)
- ・呼吸など弱くなった(2015年)
- ・膵炎(2014年)
- ・ヘルニア(2018年)
- ・不妊治療(2015～2020年)、けいりゅう流産(2020年)
- ・緑内障の疑い(2019年)
- ・前置胎盤による帝王切開(2012年)
- ・白内障(2019年)
- ・原因不明の高熱(2020年)
- ・心内膜炎僧帽弁置換(2012年)、不整脈ペースメーカー植込(2013年)、甲状腺微水癌リンパ節転移(2020年)
- ・体調不良(2012年頃)
- ・橋本病(2013年頃)
- ・肺炎(2011年)
- ・足のできものの除去(2018年)
- ・うつ病(2019～2020年)
- ・肺炎(2020年)
- ・食通アカクレア(2017年)
- ・大腸ポリープ(2019年)
- ・不整脈(2020年)
- ・前立腺肥大手術(2019年)
- ・糖尿病(2012年)

【関東】 つづき

- ・頭痛(2016年)
- ・腸閉塞(2014年)
- ・前立腺癌手術(2018年)
- ・腸閉塞入院(2018年)
- ・黄斑前幕編成手術(2019年)
- ・股関節手術(2013年)
- ・子宮筋腫(2014年)
- ・子宮筋腫(2019年)
- ・バセドウ病(2020年)
- ・大腸ポリープ(2018年)
- ・乳腺腫(2019年)
- ・尿路結石手術(2011年10月)
- ・子宮筋腫(2014年)
- ・腎臓炎(2011年5月ごろ)
- ・切迫早産(2011年10月ごろ)
- ・子宮筋腫(2012年7月ごろ)
- ・ジストニア(2020年9月ごろ)
- ・うつ病(2017年)
- ・脳梗塞(2016年)
- ・アレルギー皮膚炎(2011年)
- ・橋本病(2017年)
- ・大腸がん(2019年)
- ・1年生までよく痙攣した。2020年11月にも。
- ・白内障(2018年)
- ・直腸がん(2019年)

【中部】

- ・脳出血(2015年)
- ・鼻血とまらず(2011年)
- ・緑内障(2014年)
- ・甲状腺腫(2013年)
- ・てんかん(2019年)
- ・狭心症(2019年)
- ・手足指関節炎(2020年)
- ・慢性すい炎(2010年)
- ・食道上皮内がん(2017年)
- ・大腸がん(2014年)
- ・心臓弁膜症(2017年)、前立腺肥大(2018年)
- ・心房ブロック(2020年)
- ・切迫早産(2011年6月)
- ・副甲状腺機能亢進症(2017年)
- ・偏頭痛、アナフィラキシーショック、ぜんそく
- ・心筋梗塞(2014年)
- ・甲状腺ガン(2014年)

【近畿】

- ・高血圧(1990年頃)
- ・急性虫垂炎(2014年)
- ・潰瘍性大腸炎(2012年)
- ・甲状腺乳頭がん(2016年頃)
- ・乳がん(2020年10月)
- ・副鼻腔炎(2017年)
- ・変形性股関節症で人工関節にした（左） 2017年同じ（右）(2015年)
- ・大腸ポリープ憩室 2〜3年後に手術 原発による影響は考えていなかった。2011年3月末頃、相馬で雨に打たれながら作業したこと有り。
- ・誤嚥性肺炎(2017年)
- ・脳梗塞(2013年)

【中国・四国】

- ・前立腺がん(2020年頃)
- ・虫垂炎(2018年頃)
- ・TIA(2014年頃)
- ・がん(2019年頃)
- ・甲状腺腫瘍(2017年頃)
- ・甲状腺良性腫瘍の拡大(2020年頃)

【九州】

- ・足　　ガングリオン(2018年)
- ・大腸ポリープ(2017年9月)
- ・熱・ゲリ・咳(2011年夏)
- ・骨折(2020年10月)
- ・下痢、脱水
- ・うつ
- ・脳腫瘍

【福島→県外】

- ・痛風、高血圧(2014年)
- ・熱性けいれん(2011年)
- ・PTSD(2011年)、橋本病(2012年)、うつ病(2015年)
- ・高血圧(2014年)、きかんしえん喘息(2014年)
- ・甲状腺B判定(2013年)、血小板減少性紫斑病(2015年)、生理不順(2014年)
- ・原発性出血大腸炎(2013年)
- ・甲状腺腫留摘出(2014年)、脳梗塞(2017年)
- ・シェーグレン症候群(2021年)
- ・完全型房室中隔欠損症、低体重、発達障害(6年前)
- ・甲状腺嚢胞(2011年)
- ・甲状腺結節経過観察(2016年)、子宮筋腫手術(2020年)、歯周痛通院(2017年)
- ・胃がん手術(2016年)、めまい(2020年)、うつ病(2011年)
- ・疲れがたまって起き上がれなくなり、郡山にいる時に2〜3回、藤沢で1回病院で点滴加療(日帰り)しました
- ・骨折(2019年)、3歳の頃に事故を経験して以降、こちらに転居してくるまで突発的な発熱が度々あり、一番ひどい時は2016年で毎月1回のペースで40℃近くまで発熱がありました。(ほぼ必ず頭痛も)
- ・白内障(2017年)
- ・認知症(2018年)
- ・うつ病(2011年)
- ・肝機能悪化、人工透析をうける(2017年)
- ・前立腺肥大(2019年)
- ・高血圧(2011年)
- ・高血圧(2011年)

【県外→福島】

- ・熱性けいれん(2011年11月)
- ・チョコレート膿腫(2020年)
- ・頻尿(2018年)
- ・耳がへいそくしたような症状(2020年)
- ・吐き気(2020年)
- ・胸にしこり(2019年)
- ・突然倒れる(2014年)
- ・腎臓がん(2018年)
- ・脳梗塞(2011年)
- ・ブドウ膜炎(2019年)
- ・頻尿(2020年)

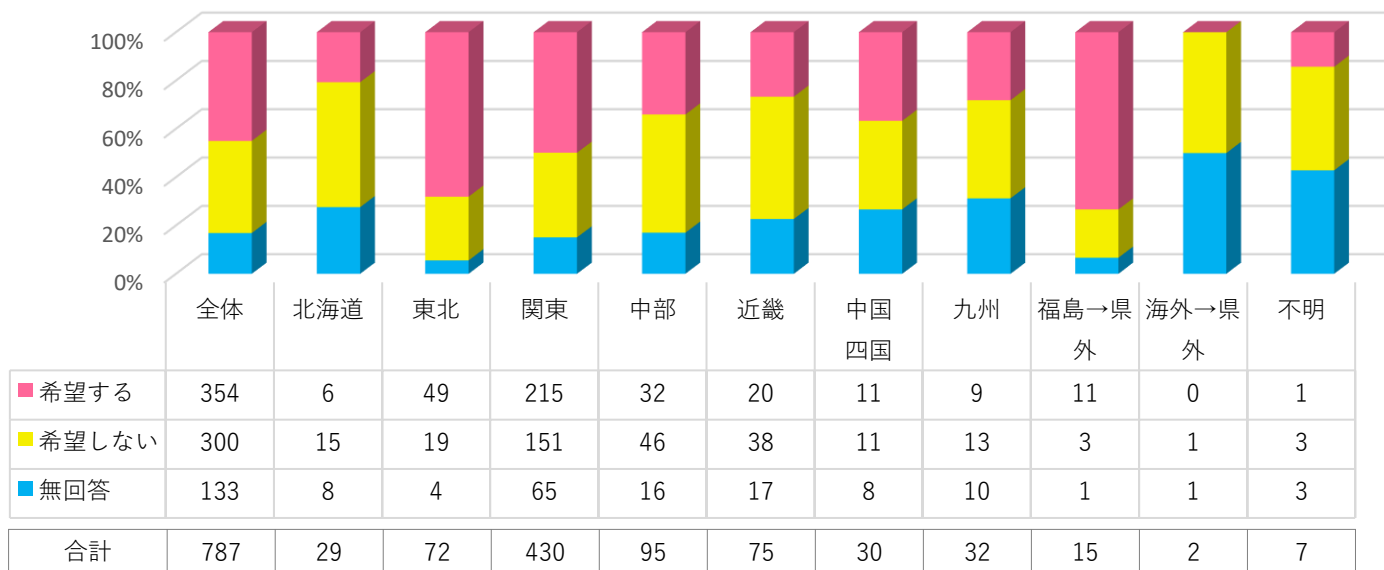
【地域不明】

- ・肋骨骨折、血気胸(2020年)
- ・腎盂腎炎(2018年)
- ・臍ヘルニア
- ・血管(2015年)
- ・2ヶ月無健診(5年前)
- ・帯状疱疹(2016年)
- ・大腸ポリープ(2017年)
- ・SAPHO症発症(2017年)

※現在の居住地によってアンケートの内容が異なります。
 福島県外在住の方はQ14-1、福島県内在住の方はQ14-2の設問です。
 転居などの関係で現在の居住地と送付したアンケートの内容とで相違がある場合もあります。

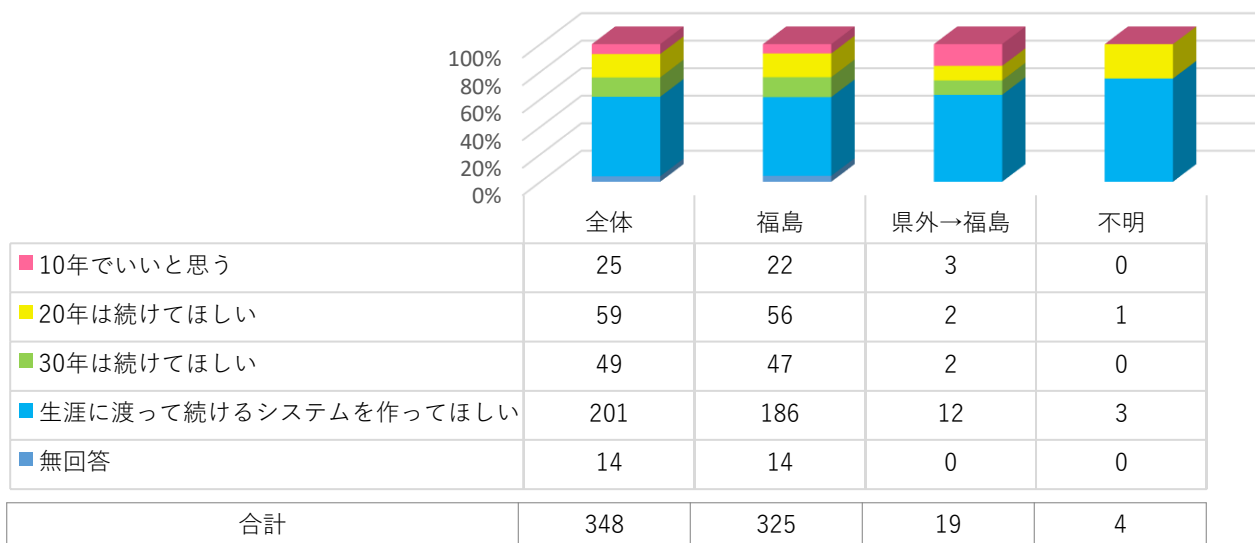
(福島県外在住対象)

Q14-1. 福島県で実施している甲状腺検診と同じ検診をあなたの地域でも実施することを希望しますか。

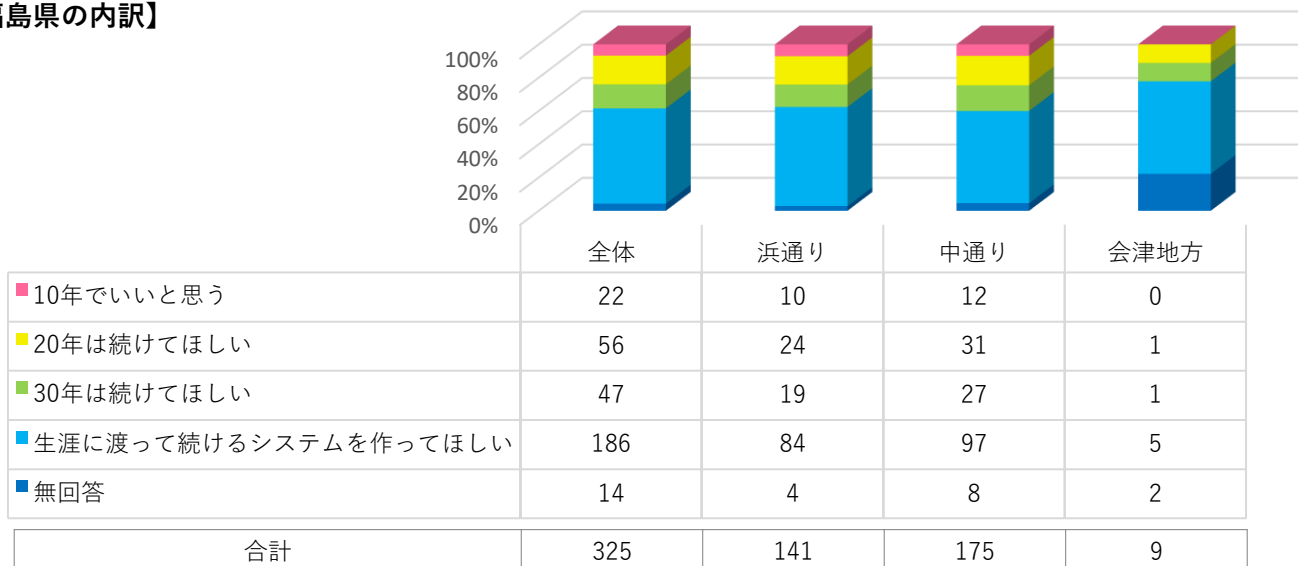


(福島県内在住対象)

Q14-2. 福島県では、甲状腺検査は子どもたちの甲状腺の状態を把握し、健康を長期に見守ることを目的に実施していますが、事故後いつまで続けたらよいとお考えですか。



【福島県の内訳】



【中通り】

- ・ 今までの検査で何かあった人のみ続ける。オペの必要のない甲状腺癌でも見つかって、癌と言われたらオペした方が…と思ってしまう。難しいと思う。たまたま身近にそういう人がいないので、言えることなのかなとも思う。
- ・ 当時の子どものみ生涯に渡って続けるシステムを作ってほしい。

【関東】

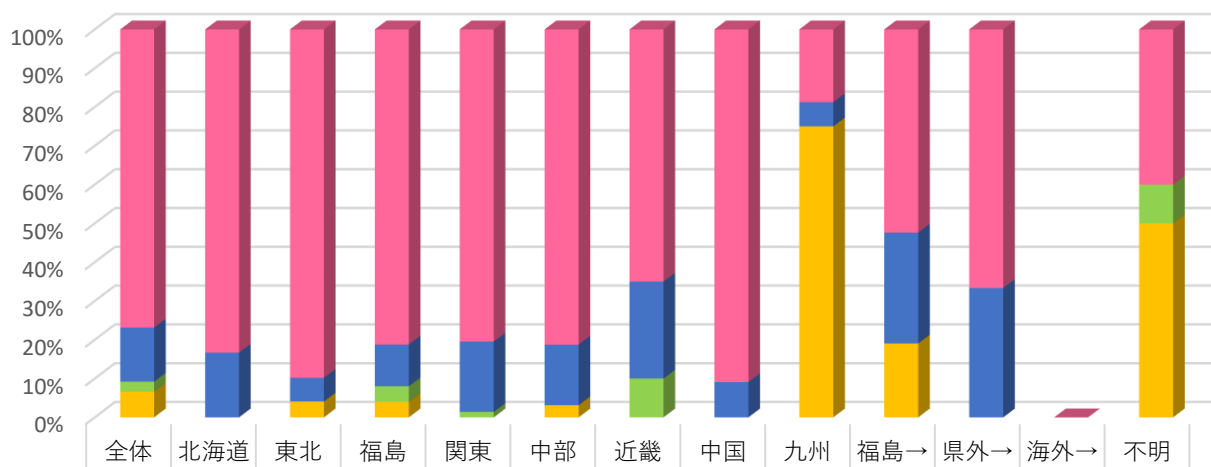
- ・ 福島と同じは報告がないので嫌。検診してやって欲しい。
- ・ 私の子供たちは社会人になっており、さほどの深刻さは感じませんが、小中学校の子供たちの健康については事故を起こした私たちの責任として全力を上げるべきだと考えます
- ・ 3年から5年ごと（特に子供たち）
- ・ 全国的に希望者には実施してほしい
- ・ 日光市は希望者のみ実施中

【中部】

- ・ 福島との比較で有効なら

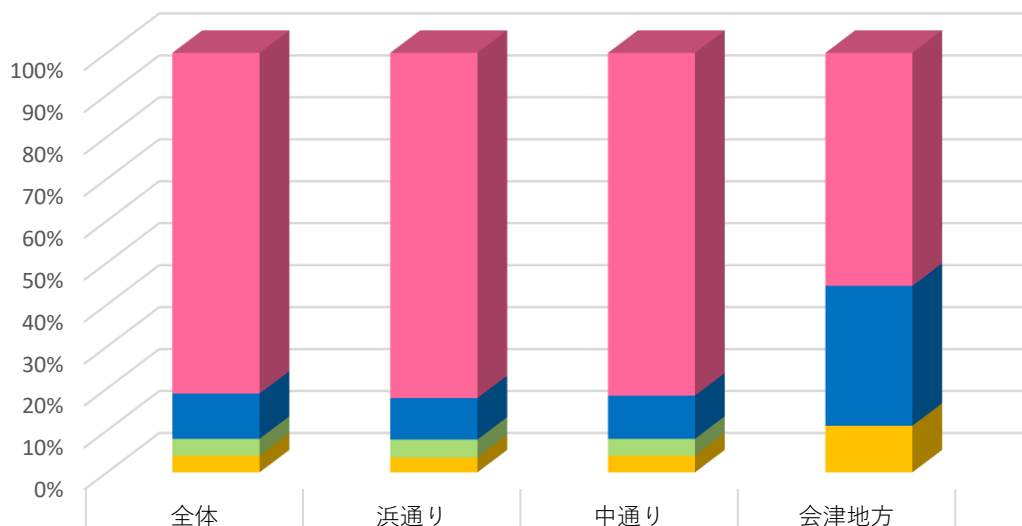
Q15. 「(Q14で子どもたちの甲状腺検診を)希望する」と答えた方にお聞きます。小・中・高校生の検診は学校で実施することを希望しますか。(福島県外在住対象)

Q15. 現在小・中・高校生は、主に学校での検診で検査を受けていますが、今後も学校検診が望ましいとお考えですか。(福島県内在住対象)



学校検診が良い①	568	5	44	264	173	26	13	10	6	11	12	0	4
学校以外の検診が良い②	103	1	3	35	39	5	5	1	2	6	6	0	0
①と②の両方選択	19	0	0	13	3	0	2	0	0	0	0	0	1
無回答	49	0	2	13	0	1	0	0	24	4	0	0	5
合計	739	6	49	325	215	32	20	11	32	21	18	0	10

【福島県の内訳】



学校検診が良い①	264	116	143	5
学校以外の検診が良い②	35	14	18	3
①と②の両方選択	13	6	7	0
無回答	13	5	7	1
合計	325	141	175	9

【学校の検診が良い】と答えた方の理由

【浜通り】

- ・時間にムダがなく、父兄の負担が少ない
- ・保護者が連れていくのが仕事の為、難しい
- ・全員が受ける事に意味があると思う為

【中通り】

- ・手間が少ない
- ・授業の中でやってもらえるので
- ・コロナの心配などもありますが。全体データを残すという意味で必要(個々に検診だと行く行かないが個人判断・都合になってしまう)それと国・自治体の意識づけという点でも個々にしない方がよい。
- ・皆でうけた方が受診率が良いから。又、予約が各自だとはん雑な為。

【関東】

- ・結果通知は個別に

[学校以外の検診が良い]と答えた方の理由

【北海道】

- ・コロナのため学校では職員の負担が大きくなるので

【東北】

- ・行政機関が組織して欲しい
- ・先生の仕事を増やさない方がよい
- ・いじめ・差別につながらない注意が必要という点から

【浜通り】

- ・福島県立医大が信用できないから
- ・結果がわかりにくいと聞いたことがあるため
- ・高校生まで検診を受ければ大丈夫と思ってしまう。異常があっても説明を受けられない。
- ・学校での検査結果はわかりにくい、不親切、説明がないから
- ・細かくみってくれるから
- ・精度、継続などで学校では長年はムリ
- ・その場で状態を見る事が出来ると安心するから
- ・結果がよくわからない
- ・どちらでも良いが、学校(集団)検診は誤診が多い
- ・高校を卒業するので

【中通り】

- ・流れ作業的になってしまっていないか不安
- ・継続して検診できる
- ・学校も県外も受け、違った見方があったから
- ・毎年検査をしてほしいから
- ・成長と共に学校卒業を迎えるため
- ・丁寧に診てくれない、相談は受け付けないと言われた
- ・1人1人時間を取って調べてくれるから
- ・学校に通っていない子、セクシャリティーなどの個人的権利を尊重するため
- ・プライバシー保護
- ・流れ作業になりやすいのでは…
- ・丁寧に診察してもらえる
- ・集団はありがたいが見落としがないか、じっくり一人一人見てほしい
- ・学校によって差が出ないか(技師や医師)、学校以外だと受診者減る恐れ？
- ・学校が忙しく、子どもの負担が大きい
- ・学校での検診も効果はあると思うが、検診時間が短く心配であるから(負担が残る)しかしながら国、東電の責任の下、学校検診は続けていくべきだと思います。

【会津地方】

- ・プライバシーの確保のため
- ・詳細に調べているのか不安

【会津地方】 つづき

- ・福島県の甲状腺検診対象は三女だけだが、進学のため県外に出たので、これまで3回の検査すべて関東圏の大きな病院で受けた。親も同席でき、個室で落ち着いた雰囲気を受けられた。学校検診ではとてもデリケートな検査にもかかわらず、プライバシーが守られているとはいえ、医療機関での保護者立ち合いのもと検査が受けられるのが望ましいと思う。事故当時18才以上だった子や事故後に産まれた子にも検査を希望すれば受けられるといい。長女と私は会津若松で行われたたらちねさんの甲状腺検診を受けさせていただきました。感謝いたします。
- ・1人1人丁寧に診てもらっているか不安

【関東】

- ・不登校児が対象からまれる可能性がある
- ・学業とは切り離して健康管理する方が良いと思う
- ・たくさんの症例がわかるため
- ・会社員でもうけられるように
- ・子どもや親の間に差別がおきないか？でも無関心な親も居るので学校の方が良いかも
- ・したくない人もいるかもしれない
- ・検診に立ち会った方がいい
- ・不登校の子どももいるから
- ・松戸では1年実施した町があった様に思います？希望する人に実施して欲しい
- ・学校医が甲状腺に詳しいという保障がない。法的にはどの科の医者でも良く検診が形骸化するおそれがある
- ・地域によっては被曝は一律ではないから
- ・教師などの対応でイジメになるので
- ・そもそも「県民健康調査」のデータの扱いについても疑っている
- ・放射能被害についての認識が違うので受け入れてもらえない為
- ・正確に検査できる
- ・学校に行かない不登校の児童もいるので学校、小児科など選べたら良いと思います
- ・学校は集団なので支障が出るかも
- ・結果により差別がでるかも
- ・ほぼ全ての子供たちが受診できる
- ・必要と感じる人のみでよい
- ・学校に負担がかかるので
- ・検診内容を詳しく知りたい
- ・信用できないため
- ・差別の目で見られる
- ・個々の心に響き方違う為
- ・原発事故に対しての親の考え（気にするか、しないか）が違う
- ・希望者だけで良いと思うから。
- ・原発に対する意識の違いが大きく、今では気にしていない人が多いから。
- ・政府の策の通り栃木県は忘れてしまったり、なかったことになっているようですが、症状として現れてなくても今後のデータとしてしっかり調査をし、残していくべきだと思います。
- ・みんなが受けやすくなるから。
- ・学校検診は可能性が少ない
- ・不登校の生徒がいるほか、プライバシー保護の視点から
- ・より多くの人からデータも取り、東電事故は人災なので企業として、国として責任をとるべきだから。
- ・スクリーニングのように流れ作業的になりそうである
- ・希望者だけではなく全員の検診が必要だと思う。
- ・検診が受けやすい(時間等)

【中部】

- ・愛知県は全員対象ではなくてもいいと思ったから
- ・信用していない
- ・人によって考え方が違う。個人情報の取り扱いが心配
- ・きちんとした意志、信頼できる子なら良いがそうとは限らないから

【近畿】

- ・第三者による、丁寧な診断が大事だと思うから
- ・差別の対象となる恐れがあるため
- ・避難してきた人が対象なので

【九州】

- ・九州地方は距離が遠く、時間の経過と共に記憶がうすれてきている為（残念ではありますが）
- ・大分ではこのレベルでしょう。全国調査して福島状況を明確にできる目的があれば学校ですね

【福島→県外】

- ・県外避難者の為、学校検診がない
- ・学校でできると親は楽だけれど、見えないところで（つきそえず）行くと子供は不安になると思うから
- ・あらぬ気をつかわれるのが面倒な為
- ・検診対象者が少ないため（私の家族のみ）

【県外→福島】

- ・精度、継続etcで学校では長年はムリ
- ・学校卒業してしまうため
- ・大人になってしまったら機会がなくなってしまう
- ・全員が容易に受けられる
- ・原発事故時に福島県に現住所が無い人は学校で受けられない
- ・自由に行ける検診がよい

【地域不明】

- ・検診は学校でもよいが、学校に通っていない、いけない子もいると思う

Q16. 「学校以外の検診が良い」を選んだ方は、学校検診以外どのような方法が良いとお考えですか？

※Q15で「無回答」と選択した方の分は上記の集計に含んでいません

【北海道】

- ・検診車を準備し地域を回る

【東北】

- ・行政機関が組織して欲しい

【関東】

- ・保健所
- ・近所の医院
- ・無料にして(市民団体など民間で行っている甲状腺検診に連れていく)
- ・訪問型
- ・尿や頭髮検査
- ・公費でできれば行きやすいところ、どこでもいい
- ・レントゲン車のような移動検査で集団検診
- ・自治体で任意の検診に補助を出す
- ・市民向けの健康相談で
- ・自治体で任意の検診に補助を出す

【中部】

- ・2011年4月には生まれていなかった子供たち

【県外→福島】

- ・入学、卒業などや成人式etcのときに案内etcを送り、無料クーポンによる無料受診をすすめる。

【地域不明】

- ・子ども食堂などでお知らせする、学校以外でうけられる所を作る

Q17. その他、何かお気づきのことがございましたらご記入をお願いします。

【北海道】

- ・健康については私、妻ともに気が付くことはありません。長女は2009年次女は2013年に生まれたので記載しませんでした。

【東北】

- ・国の対応に疑問が大きい
- ・私は岩手に住んでいるが、ほんの数年前まで茸類が出荷できなかったりしていたにも関わらず、放射能に関心がない人がほとんどです。そういう、私も心臓の異常に気づいてからいろいろ調べもしかするとセシウムの影響かもしれないと思い食品の産地に気を付けたり山菜やキノコ類は控えるようにしたら症状は改善されたのでやはり、セシウムの影響と思っています。
- ・生活クラブ岩手では希望者が行ってます。
- ・市町村によって甲状腺検診を無料でやってくれる所と自費でやる所の格差が宮城ではあります。白石は福島と県境にありながら白石市では検診も何もしてくれません。表紙を見る限り福島県境の町と同等のセシウム量で福島県は全市町村でやる、宮城は自治体でというのはおかしいと思います。長男は2011年当時4歳でした。なので物凄く心配です。どうにかならないのでしょうか？
- ・私の住んでいる山元町は福島県との県境にあり西隣は角田、丸森と放射能の汚染状況もかなり心配でした。原発事故のあった場所から距離も近く事故当時の風向きによっては浪江の様な被害も考えられました。実際線量も高かったです。甲状腺検診などはとても興味があります。たらちね通信は送って頂けて感謝しています。今後もよろしくお願いします。
- ・このアンケートのようにお知らせとして甲状腺検診に日時、場所等郵送して欲しいです。先日、白石市で貴団体主催の検診を受けたとき喉が機械で抑えられて大変苦しく、終わってから苦しさ、痛みが取れなかった。今は時々痛むが放置しても大丈夫なのか心配だ
- ・数年前チェルノブイリ29年（29年だったと思う）という40分位のDVDを見たことがある事故から30年近く経っても人々の健康被害は治っておらず、子どもたちは血色も悪く絶えず健康の問題を抱えていた。福島の子どもたちがそのようにならぬよう切に願う
- ・希望する場合は検診できる体制はあっていいと思う

【浜通り】

- ・専門的な知識が乏しいので(勉強不足?)…
- ・原発事故と甲状腺ガンの因果関係は無いとの判断材料である他県の子も達の比較のための検査を実施させるべきである
- ・甲状腺以外の健康調査も行ってほしい。大人になれば定期健康診断があるが、就業するまではほとんど検査がないため。
- ・大学生などになり、県外に住んだ時、検査をしたくても県内に戻るのも時期によりむずかしく、県外での受診も平日の決められた場所、時間では受けられない。また、行けたとしても「原発事故の検査」のコーナーに行くので、好奇心をもって見られるのもイヤ。
- ・長女(24才)は乳がん検診でしこりがあると言われたが、原発が原因ではないと言われたが心配です。
- ・子ども達だけでなく、大人でも何人もの人たちが甲状腺の異常で病院に通院しているのはおかしいと思います。
- ・2011年検診後、南東北病院で血液、エコー検査を受けていて、現在は1年毎に。のう胞の大きさ、数が多く、将来は手術になるかもわからないので、不安です。
- ・当時は仕事で休みもままならない程、飛び回っており、自覚症状を感じる余裕はありませんでした。翌年個人的なことが一段落した頃から全身の筋肉痛、だるさ、身の置き所がないくらいの眠気に悩まされました。ひどい眠気は今なくなっています。2015年頃から狭心症の発作が出たり、時々心筋梗塞を疑われたりで、内臓系とともに定期的な検査を受けています。「現在、小・中・高校生は主に学校での検診で検査を受けていますが、今後も学校検診が望ましいとお考えですか？」の件全員が受けられるという意味では学校検診は残しておいた方がよいのではと思います。(但し、精度の問題ありか?) その上で民間検査の窓口を広くして、気軽に受けられるように整備されていくといいなあと思います。"
- ・少しずつ心配していたことが日々の生活で忘れていました。子どもも産まれたばかりの年でもある為、あまり感じていないようです。ただ、後から出てくることもある為、私のように忘れてる方にも思い出してもらって確認をすぐできるようなシステムづくりをみんなで作ればなと思います。
- ・土日の検査場所を増やしてほしい
- ・何より子どもたちの健康が心配ですので、甲状腺だけでなく、定期的に心・体の検査をして頂きたいです。
- ・現在はコロナ等あるので、病院にわざわざ連れて行きたくない。
- ・検診で甲状腺に異常があると診断された場合、「原発事故との因果関係の有無を認めない」との判断がされている報道を耳にすると今後子どもたちの健康に不安をもってしまう
- ・植物の変異がみられます(生殖細胞の変異)。タニウツギの花が小さくなり、まったく目立たない(咲いていることが分からない)。クレヌチスの花が小さく星がちりばめられたようになった(原種？改良前に戻ったのかと感じました)。事故後3年程まで日本ミツバチが多く死滅し、ハチミツの収穫ができなかったことを聞きました。知人で耳のガンになり手術(相馬に実家のある方)

【浜通り】 つづき

- ・福島県で生活しているので、生涯追跡調査が必要だと思います。

【中通り】

- ・事故の風化が著しいので教育機関でも子どもにわかりやすい方法で長期間に渡って教えてほしい
- ・学校の検診は「形」だけのような気がする
- ・食品の放射能を多く公開していただきたいです。会津のくまやきじなどいただいて食べるのですがわらびやなめこ、こごみなど測定しても検出されませんでした。
- ・微量の放射能を浴び続けることの影響は前例がなく、いわば実験材料なのかもしれない。それでも、この地に住み続けなければいけない住民のことなど国や県は真剣に考えようとはしていないと感じている。
- ・知人に甲状腺ガンで手術をした方(40代)がいますが、事故放射能影響との因果関係も分からず、自費で手術を受けた方がいます。実際は影響があったかどうか不明のまま、この点は自分のことのように不安を感じています。また、10年経つと意識も低下し、大丈夫だろう、おそらく放射能影響はないだろうと思い、徐々に自身の中で風化していってます。
- ・専門家が信じられない。どうせまたウソをつくのだろうと思っている。復興資金のせいか、県は国のいいなりになっていると思う。
- ・尿検査や血液検査もやってほしい
- ・私自身は娘と一緒に受けた検診で結節の指摘をうけたが、「ああ、がん保険が手薄だった」と思った経験がある。小児がんは社会保険で賄うことができるが「ガン」ではないが県民健康調査で何か指摘があった場合を考えると、任意保険(子どもの。子どもが大人になった時の)ハードルを感じる。検診は必要だが、早期すぎる指摘で支障があることも感じさせられた。(県民調査は特にデータが残るので)要検査の通知があったらと思うと生涯の保障について考えてしまう。
- ・学校でやらないと自分では予約をとってまで行かない。
- ・長期間の検診が必要だと思います。娘、孫たちの体調なども気になります。
- ・「治療しなくてもよいもの(小さいもの)まで見つけてしまう」と言われますが、見つけるのと知らないのはちがうと思います。見つけたうえで治療が不要とか、経過をみていくのでよいと言われる方が納得がいきます。可能性がある以上、検査する責任があると思う。

【関東】

- ・直接関係があるとはいえませんが、千葉県在住の高齢(70代)者のガンがみつかりました。庭の植物の葉や野菜大きくなっています。(原発問題を扱った映画にそのような事が言われていましたが、特にこの10年位はめざましい変化に思います)
- ・胃腸の内臓が被曝によって弱くなった
- ・バイアスのかかった診断ではなく、純粋に科学的に判断してくれるかが重要だと考えます。
- ・検診は県、国の予算或いは補助などの援助金を使うべきです
- ・国策として原発を進めてきたのであれば、検診も行政指導でされるべき。民間がボランティアでやるべきことではない。保護者が子供の健康を心配している/していないに関わらず、健康被害はどの子供にも出る可能性がある。全ての子供(事故当時)がもれなく受診できる体制を整えるべきと思う。
- ・甲状腺検診は全体との比較が必要だと思います。科学的な検証が説得力を持つと思います
- ・病気等の増減があった場合、公的な機関からの発表があるべきだと思う
- ・心配な人はどの地域にいても受けられるほうが良いと思います。自治体から費用の補助があったらなお良いと思います。
- ・私は八王子市内にある市民測定室に参加して家の土の放射能を測定したところ、雨どいの下は3000ベクレルあり、そこから50～100cm周辺は約10分の1、庭全体は70～100ベクレルあります。(2019年測定)雨どい周辺は近づかないようにしています。
- ・葛飾では2018年から市民による甲状腺検診を始めました。2020年はコロナ蔓延により会場が使えず見合わせになっています。たらちねさんにも届け出のことでお知恵を借りたり、藤田先生にお話を聞いたりしています。
- ・現在、神奈川県小田原市に住んでいますが、甲状腺検査を受診(検診)可能な検診機関(医療機関)は神奈川県内にあるのか御教示していただきたいと思います。よろしくお願いします。
- ・震災時、日立発の常磐線に乗車しており、大みかとひたち多賀駅の間で被災。電車内に閉じ込められた後、全員が下車をしてひたち多賀まで歩いた。その後夜までひたち多賀駅前の路上で過ごし、駅前ホテルで一晩過ごした。当時4才娘、1才息子は被曝した可能性があるので心配している。
- ・群馬はもともと甲状腺機能障害が一定の地域で多くみられます。(事故前より)公衆衛生ではヨード関連が指摘されていますが、実際事故直後は前橋市(特に赤城山)も高い放射線量が測定されています。特定の地域はもちろん全国で子供たちの検診を定期的に継続的に行われるべきだと思っています。
- ・被爆した人には必ず無料で受診できる様にしてほしい。チェルノブイリを参考に(疑われる人も)成人しても影響がある人がいます。国の責任で見てほしい
- ・本来国が大規模な健康検査を行うべきです。隠れた体調不良者は数多く存在します。福島避難者の話には多くありました。下血、意識を失いながら逃げた子供。千葉の知人は重度の水虫、甲状腺がんの方、食べて応援した若い官僚の女性は全身湿疹が出ました。私の周りを注意深く見ているだけでもいろいろ気づきます。私自身記憶力がかなり低下しています。長男、次男の尿から少量のセシウムが出ています

【関東】 つづき

- ・甲状腺の検診で高名なのは渋谷区にある伊藤医院であるが同水準の医療レベルなら安心出来るが現状では違うと思います。診察する医師によって診断がまちまちになる事を懸念します。実際企業の健康診断で3・11以降だとすると原発事故を避けて診察する医師がほぼ全てです。（私の感想というか実感）
- ・私の回答ではあまり参考にはならないと思いますが親戚が相馬在住で3.11当時私の実家（仙台市内）にしばらく同居した。又仙台長町に住む50代の従弟が血液のガンになり今は寛解状態と思われる。生活を一変させる原発は絶対反対です
- ・毎年もしくは1年おきに受けていましたがコロナで受けられなくなってしまいました。娘は要経過観察のA2判定なのでとても心配です。東京では放射線について心配してることを話すと今はもうない事のように取られてしまいます。子供達が嫌な思いをせずに検査を受けられたら良いと思います。
- ・この資料をみるとテレビやニュースでは知らなかった事が多くもっとたくさんの人に知らせたい気持ちになりました。ユーチューブやネットなどで皆にもっと広げて下さい！ 終わった事の様に思ってる人もいます。子どもの10年、20年後がとても心配でなりません。福島県が学校検診をやめようとしていることに危機感を覚えます。唯一の調査を縮小されたら福島での他の疾病はもちろん、県外の汚染地域での健康被害はないものに無いものにされてしまいます。「県民健康調査」はこれまでのデータを過少評価せずに本来の目的通り若い人たちの健康を守るための誠実な努力と情報公開をしてほしい、そのうえで範囲を県外にも広げてほしい
- ・私の流産、第1子の遺伝子変異と放射能は関連しているのかずっと気になっています。
- ・2011年5月7、8日いわき市内で写真撮影していました。7日は雨が降っているなか傘をさしていたけど手の部分は濡れたのだと思います。その後1年くらいは手の甲の部分に炎症がおきました。かゆみがひどく見た目も悪いものでした。アトピーでは化学物質に過敏な体質ですが手の甲の炎症はその時だけです。鼻血は2011年の夏頃朝起きたときに鼻を触らないのに血が垂れてきました。鼻血はその時だけです。
- ・2006年頃に白内障を発症したが2014年～2015年頃から急に悪化した。個人的には事故の影響があるのではないかと思っている。
- ・ホットスポットに住んでいます。特に影響を受けたという実感は体では感じられません。
- ・国と東電はもっと真摯に受け止めて対策をしてほしい
- ・福島県内検査実施機関における検査結果が正しく公表されているのでしょうか。子どもの甲状腺ガン発症と原発事故の関係がうやむやにされるのが疑問です。
- ・時間が経って忘れてる人たちが多くがまだこれから身体に変化があるかもしれない。今の不調が全て被爆が原因とは思わないが疑いのあることは忘れてはならない
- ・(質問の)14・15については該当者がいないので想定です
- ・特に異常を感じたことは無いが、災害のあった時に多少の寄付行為をした。熊本地震、熊本地域の瓦1枚寄付行動。今回も国民の宝物子どもの健康を守る礎になれば！
- ・表紙の拡散地図を見てとても福島だけの問題ではないと思いました。若いこれからの日本を背負う子どもたち一律に検査が必要と考えます
- ・特になし。私自身（トウカイムラ）もですが、広島のパカで病気になった人も元気に年をとる人もいます。知り合い（1度手術しています）には90歳を過ぎて孫もいる人もいて皆元気ですよ。
- ・高校を卒業をした子供、20～25歳まで検査実施はした方がいいと思う。
- ・私の周りでも（立川市）障害児が生れています。やはり当時の放射能の害を知らずに椎茸などを食べ続けていたお隣さんの女子にお孫さんが最近誕生してダウン症と診断されました。このアンケートの問いから気づきました。今ではダウン症児が増え続けているそうです。
- ・福島以外の栃木、千葉等の被爆者（特に小児）のその後の情報が少なく心配
- ・年長者の家族なので特に健康上の変化はありませんが10代以下の子供の健康状態については行政は東京、千葉、埼玉にも注視して欲しいと思います。
- ・職場が東京、住居が神奈川なので大きな揺れは恐ろしかったですが、物理的被害はほぼありませんでしたが無責任な「絆」や「自粛」報道には今も当時も釈然としませんでした
- ・小平から娘が住んでいる高田馬場へ行く為、中野駅で地下鉄に乗りかえる時何とも言えない鉄のような臭いがしました。中央線を降りたとき（3月21日ごろ）雨が降っていました。15日は東京にも放射能が降ったと思います。この時も空気がざらついていたと思います。
- ・私は東京に住んでおりますがこの地で原発の影響を強く受けているとは思っていないのです。
- ・10年も経過すると当時どうだったのかの記憶がありません。新聞やTVでは各地の放射量を発表していたが現地以外では既に過去の事と捉えられている様に感じる。原発の再稼働が代替エネルギーのない中で実施されるのは国策としか考えられない
- ・原子力発電は国策なので実情を出していないように思う。廃炉・原発のごみ問題等国民知れた方が良いでしょう。事故から10年経ち風化してると思う。国も国策からの面子で原発再開を始めていると思う。事故での人体への害、食物も採れなくなる事も、その害が未来永劫続く事も。尊大な税金も掛かることも、はるかに自然エネルギーの方が経済的・安全ということも
- ・事故後は子育て中のママからとても不安という話をよく聞き、子供たちが大人になり次の世代への不安が少しでも排除される活動が大事だと感じます。
- ・10年のうち2年程（2013～2014年）は国外で暮らしていましたのでその影響はあるかもしれませんが。あとは年齢的にも体力的、身体的な病気が表れやすいので原発だけの理由とは限らないかもしれません
- ・学校でできたら良いと思いますが、時間がかかるので難しい所もあるかと思います。1年に1度くらいは近くでできたら安心です。
- ・できれば検診の料金負担を行政が補助してくれると助かるが、（うちは娘が3人いるので毎回3人分支払うのが少し負担なので）つくばあたりではなかなか難しいかなと思っています。

【関東】 つづき

- ・甲状腺の検診により集めたデータが効果的な疾病の予防にリンクできる可能性が低く、不安な感情の上上にしかならないのと他地域で積極的に検査しているのと同時に福島県のイメージを悪化させることが逆に良くない方向に向かうので、福島のマイナスイメージを早く低下させた方が良いのですべてのデータ集めをほどほどに。
- ・12月3日に参加した勉強会はとても参考になりました。質問者の中に乳児が白血病で亡くなったと言うのを聞いて「福島の女の子と結婚できない」と言った人の言葉を思い出しました。
- ・皆が忘れず、健康でいられることが大切だと思います。
- ・放射能の身体被害は徐々に出てくるので、見えづらい。加齢を思うことも多い。
- ・いつでも誰でも受けられることが望ましい。受けられる時間、費用など。
- ・今も故郷いわきで生活している親族、友人、その孫たちのことをいつも心配しています。原発再稼働に反対しています。こここのところコロナで少なくなりましたがでも夜公園に出かけています。
- ・かつての公害問題同様、原発事故は儲けるために行った企業が起こした事故です。みんな被害者であり保障されるべきであり、反対賛成かわからず、きちんとしてなかったものがあるのでそれを伝え続け責任を取らせるべきである
- ・周辺の植物に奇形がいくつも見られた。帯状化、葉の奇形(異常な大きさ、変形)、コスモスの中央から花卉。蛙、蟬、トンボ、鳥がいなくなった。カラスがゴミ収集場に来なくなった。スズメを見なくなった。春以降雨の夜に田んぼに隣接する道路を横切る大量のカエルがいなくなった。
- ・放射性物質は見ることができず不安があります。10年前は三女が7歳、地面から近い背丈だったため何らかの影響受けていないか心配です。
- ・幸い、私たちの家族は今のところ健康障害はありませんが、長期で見た場合どのような影響があるか心配です。
- ・一般住民に対しても検診があればいいと思う。無償、有償の場合は東電負担で安価でできるようにしてほしい。
- ・横浜市での被曝量、被曝時間から推定すればマスキングで良いかと思います。晩発性の影響、発育への影響は長期間のデータを蓄積すべきです。
- ・廃炉もままならない中、子供たちへの影響を考え続ける必要があると思うので学校での検診を行うのがベストだと思う。特別なことではなく、普通のこととして(原発事故があったって事は皆に影響するってことを忘れないためにも)検診を行った方が良い。

【中部】

- ・福島県の子どもたちの中に多数の甲状腺ガンを発症している人がいる。政府などはこれは原発事故時に放出された放射性ヨウ素のせいではないと原発事故との関係を否定している。しからば、2011年4月以降に生まれ、放射性ヨウ素をあびていない小児の中にも多数の甲状腺ガンが見つかるはずである。しかし実施すれば殆どみつからないはずだ。こうなれば福島の子供たちのガンは放射能のせいだと結論される。政府と東電へ賠償請求や原発事故被害告訴を出させ、生涯にわたる医療サポートをさせられる。
- ・特に気になる病状には気づきません。事故直後にはどのような影響が身の回りにも出るのか気掛かりでした。国の汚染基準が事故前より緩くなっているのは気掛かりです。
- ・子どもについては検診が必要だと思います
- ・遠くはなれている(富山県)ので、全く日常かわらず生活しています。回答できないので失礼します。アンケート項目を読み、日常生活の大変な様子がよく分かります。みなさんくれぐれも御体大切になさってください。
- ・福島から離れている所に住んでいるので、理解が乏しく申し訳なく思います。
- ・原発事故がおきた近くに住んでいる人達の健康が心配です。子供達が
- ・健康調査の結果を長期間にわたり(年に1回とか)公表し、影響を調べ続けることが大切だと思う。福島県だけの問題ではないことを国民が思い出して考えることが必要。子どもたちの健康を守りたい。
- ・伊東市もプルームの流れで一時線量が高かったが、今は大丈夫なのか気になる。
- ・東日本大震災はショックすぎて精神が乱れて大変でした。でも地元(被災地)の方々の事を思うと悲しすぎます
- ・精神症状、神経症状があるように思う。ストレス性かもしれないが、うつっぽくなったり、認知障害も年のせいとばかり言えないように感じている
- ・静岡県浜松市ではお尋ね頂いたことに該当することがなく過ごしています
- ・避難してきた福島の方が甲状腺検診を受けられたら良いと思います。
- ・県外で遠隔地なので関心は薄れがちですが福島の子ども達の居住のために毎月カンパを送るだけの関わりになっています。
- ・健康について：原発事故前での変化はありませんでした。震災後の行動について正直通常通りでした。原発に対して恐怖は発生しましたが他人事の感がありました。

【近畿】

- ・母親が長崎で生まれ、原爆の後【黒い雨】みたいな雨を経験しており、その地域の人々のがん発生率が高く、母親も悪性リンパ腫でなくなりました。いともガンで亡くなったのが数名おり、私自身も甲状腺がんにかかり、放射能に遺伝性があるのか気になる
- ・表記のデータが驚いた
- ・福島事故後、1年の千葉在住の間は、東京湾までも汚染されている事実を知るにつれて恐怖があったが、これが京都への転居を早め、それからは徐々に薄れてきている。ただ、京都も若狭湾の原発をかかえており、注目、監視している
- ・遠方なのでほとんど影響を感じなかった。ただ、刻々と流れている情報に心が痛かった
- ・どこの医療機関でも、無料で受診できたら、受ける人も増えるし、もれなく広報周知してほしい

【近畿】 つづき

- ・甲状腺検診は、学校でした方がもれなくできると考えます。しかし、結果は個人に直接通知するようにした方がよい
- ・私は三重に住んでおり、影響はあまりないと思っていますが、息子達家族が千葉と埼玉に小さい子どもと一緒に住んでおり、こちらへ帰ってきてくれたら良いと思っています。やはり、東北、関東圏では全体的に甲状腺検診を学校で実施又は全員が受けられることを望みます。
- ・私は福島県に居住したことがないので答えられないことがわりとありました。息子がこの4月から福島の大学に入学し、おそらくずっと居住することになるので、何かできればと思い寄付しています。ずっと住み続ける息子（現在20歳）の家族・子どもにとっても良い方向にもっと進んでいくと良いと思っています。
- ・3/24～4/2いわき・相馬・石巻・気仙沼を訪ね兵庫県の淡路阪神震災の被災児童が作ったこいのぼり（空の魚）を4連（各蓮50～60匹）を届けて泳がせるように設置した。自分の被災は考えていなかったが、相馬で雨に遭ったこと、帰宅後3年間鼻血が止まらなかったことは強く印象にある。
- ・震災が起きる前に東京電力（株）の首脳陣は福島原発が大きな地震が発生すれば津波で被害を受けるという情報をもっていた。（東電の社内で担当者が津波が予測していた）のに安全対策を講じなかったのは明らかであるので現在裁判中であるが、首脳陣は罪を認めるべきである。（娘が福島県立医大を卒業したので福島県等にお世話になりました。）
- ・福島原発事故が起きたときは、民主党政権下で官僚の協力や原子力保安委の協力も十分得られず右往左往していたように思うが自民党・安倍は高見の見物であった。しかし本当は安倍晋三の責任である。と、いうのは第一次安倍政権化で、共産党の吉井秀勝議員がこのような事故（電源喪失）が起きることに対して、対策を訴えていたにもかかわらず何の手立てもとらなかった。そして事故が起きると民主党菅直人首相の対応の仕方を追及していた。本来なら安倍の責任の方が大きい。刑事責任に問えるなら安倍を刑事被告人につけたいくらいだ。福島でもっと安倍の責任を！
- ・福島原発は京都において問題なく、サンマのセシウムだけが気になる所です。私は2月にコロナウイルスと思われる症状に悩み9ヶ月の症状があります。
- ・奈良に住んでいると意識は薄いが健康被害が全く心配ないということを証明されたこともない。子ども達がなんともないことを証明できれば良いのと思う。
- ・国が動かない中、スタッフの頑張りを応援します。原発の問題はもう終わったように思っている人がほとんどだと思います。実際はこれから数多くの問題が出てくるのにそのことは隠されています。

【中国・四国】

- ・日本列島(本州)の一番端である県ですので、あまり影響は感じませんが、県東部に原発を設置する動きがあるので、監視していきたい。
- ・日本全体、思っていなかった場所にもセシウムが拡散している事にビックリしてます。原発については地球規模で人々が考えていくべき問題だと感じています。皆様の努力が他県の皆様にも届きますように。
- ・2011年6月～11月頃まで、宮城県の岩沼市に何度か行っていますが、土砂に放射性物質が含まれている様でした。その土砂を洗った水に濡れたためと直答は出来ませんが、気にはなります。
- ・本人及び家族(子ども5人夫)はおおむね健康です。

【九州】

- ・検診自体を減らす方向にあることを危惧しています。また、福島県だけでなく宮城等、近隣県での検診をもっとすべきと考えます
- ・他県（福島より遠いので）でお金を使うより福島県民の為に使ってほしい
- ・なぜ汚染水を順環させないのか？ 冷却しては又使えないのか？
- ・被災地から遠い所に住んでいるので普段意識せず生活しています。健康面も問題ありません。
- ・福岡在住のため、ほとんど答える内容ではありませんでした。「たらちね通信」が初めて届きました。他のNPO同様、年1回程度活動報告として送付されることを希望します。
- ・すみません。沖縄在住で、質問のほとんどに実感がなく、答えられません。
- ・絶対に子ども達に対する健康診断は国が責任もってすべき
- ・甲状腺のエコー検査は毎年うけています。先日の検査で結節の大きさが去年の2倍になっていた為、再度検査予定です。
- ・福島から遠く離れた地に住んでいる為、実害はありません。しかし、みんなが忘れてしまうことの危うさを感じずにはられません。原発再稼働に向かっていく日本であってはいけないうのに・・・国民の意識をそのようにし向けている政府、マスコミの責任は大きいと思います。
- ・全県、全国での検診の必要までは感じないが、本来的には、たらちねの健診や放射能測定のは、国や自治体で行うべき事業だと思う。

【福島→県外】

- ・(質問の)14の「希望しない」を選択した理由は、福島県が実施している検診は、結果の説明が非常にわかりづらいと聞きます。

【福島→県外】 つづき

- ・生涯に渡って続けるシステムを作ってほしいが、それは絶対に信頼できることでなければならない。県民健康調査は全く信用できないので、現在24歳の長男と22歳の長女にはこちらでの検査を受けさせたことはない。沖縄で年に1〜2度甲状腺の血液とエコーの検査をしている（病院にて）
- ・甲状腺検診は全国民に実施すべきです。汚染された食料を流通させていますからいつ、どこでも被ばくの危険があります。
- ・福島県外の子どもたちにも広く検査を行って、福島と他の地域の比較をしてほしい。過剰診断なのかなど。
- ・一応お知らせ（通知）が来るので受けてはいますが、はなから県の検診は信用していないので、事故後すぐ〜現在まで、自分で他の医療機関にて検診を定期的に受けています
- ・前に子どもが甲状腺検診を受けました。なかなか日時が合わず、2回目は受けることが出来ませんでした。毎年、必ず受けることが出来たら気持ちも安心します。
- ・検診は、大人も行うべき。検診の検査項目は増やすべき。結果やその評価についてはすべてオープンにして政府にそんなくしない専門家を入れて公正に研究するべき。先に結論を出すようなことは絶対にさせない。
- ・学校でみんなが、定期的に受診するというふうに定着して、取りこぼし無く甲状腺の状態を観察して行っている。
- ・2年目、3年目に「ぽっくり病」で亡くなった人が沢山いたそうです。CsやSrが壊変して安定となっても無害なのでしょうか？ PbやKが多い環境や生化学、栄養学上、どうなのが不安です。シミが目立つようになった（2011年4月頃）

【県外→福島】

- ・学校検診の方が予約や日程調整など不要で楽です。安心です。しかし、地震当時、住民票が仙台だったため、対象外となり検査してもらえませんでした。（毎年の甲状腺エコー）電話で問い合わせ、地震当日に実家（飯坂町）に避難し、水×電気×TVも観れず、庭で砂遊び等を行ったことを伝えても検査してもらえませんでした。いわきより放射線の数値が高かったのととても心配でした。こちらで無料で検査して頂き、安心できました。大変感謝しております。
- ・長男は震災当時、住民票が茨城県でした。しかし里帰り出産しており、福島市で被災しました。（生後1ヶ月程でした）現在はいわき市に住んでおり、小学4年生になりますが、学校検診は毎年受けることが出来ません。理由は当時の住民票が茨城県だったからとのこと。いわきの学校に今は通っているのに、受けることが出来ないのは納得ができません。被災も福島でしているのにそれを言っても住民票がないという理由から受けられません。そのあたりを考慮してほしいと思います。（住民票は今はいわき市です）
- ・リンパにしこりがたくさんあるのがわかり、とても不安です。震災当時、東京にすんではいましたが、実家がひさいし、すぐに福島入りし、しばらく行ったり来たりの生活でした。
- ・甲状腺検診は期間は長くなくても良いが、福島県以外の地域でも行った方が良いと思う

【地域不明】

- ・がん家系ではないが、おば（80代）いところ（50代）東京在住2人とも（乳がん）、いところは心臓疾患も併発手術。
- ・2013友人、白血病（50代）死亡→三重県民→10万人にひとりの奇病とDrに言われた。
- ・2019、友人の子、東京都民、突然死（31才）